

戸田市立〇〇小学校第1学年 外国語活動年間指導計画

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取り扱い教材	道徳との 関連性
前 期	4 5	〇こんにちは・はじめまして Hello/Nice to meet you.	2	【単元の目標】 ○挨拶をする。 ○名前を尋ね、答える。 【コミュニケーションにおける言語の働き】 ○コミュニケーションを円滑にする:挨拶をする。 【活動到達目標との関連】 ○基本的な表現を用いてあいさつをしたり、名前を言ったりすることができるようにする。 ○相手の目を見て話を聞くことができるようにする。	Hello/Good Morning/Good afternoon Good Bye/See you Nice to meet you(too) What's your name? My name is 〇〇/I'm 〇〇	【Song】 "Hello Song" "Hello Hello What's your name?"	B(8) 礼儀
★授業の例〔4月〕【本時の目標】ALTやHRTや友達と簡単なあいさつを楽しむ。							
		児童の活動	H R T の 活 動		A L T の 活 動	取り扱い教材	SWITCH ON !
①<あいさつ>Greeting ・あいさつをする。 ・English Ruleの確認をする。		①児童にあいさつをさせる。 ・Good morning ! ・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response		①児童とあいさつをする。 ・Good morning! How're you. ・I'm fine ! Sit down , please. ・Confirm English Rules			
②<ウォーム・アップ>Warm up ・"Hello song"をジェスチャーしながら歌う。		②児童と一緒に歌を歌う。 ・Let`s sing "Hello song"with gestures!		②児童と一緒に歌を歌う。 ・Let`s sing .with gestures! ・Sing with students.		【Song】 "Hello Song"	【Song】 Grade1 Lesson1 No1 "Hello How Are you?"
③<コミュニケーション活動>Communication Activities (ふれる)Meaning practice ・Roll The Ball gameをする。		Roll The Ball gameをさせる。 ・Let`s play Roll The Ball game! ・2つの円をつくらせる。 ・始めの児童を決める。 ・渡された児童はボールを転がして "What's your name.?"と言う。 ・渡された児童は、"My name is 〇〇と言う。		Roll The Ball gameをさせる。 Role play with HRT ・Make two circles. ・The starting student rolls the ball student next to then. ・The Rolling student says, "What`s your name.?" ・The Student chaching the ball says, "My name is 〇〇."			
(親しむ)Real communication <ルール> ・London Bridge gameをする。		London Bridge gameをさせる。 ・ALTや児童とデモンストレーションを行いながら、ゲームの説明をする。 ・Let`s play The London Bridge game! ・Play game with ALT 2人一組で橋を作らせ、間に川役の子が流れるようにする。歌で川が流れ、'My fair lady'で橋を下す。中に入っていた児童に"what`s your name?"名前を尋ね、答える。		児童と一緒にLondon Bridge gameをする。 Role play with HRT ・Let`s play The London Bridge game! ・Make a river and a bridge by students. ・Sing "London Bridge" and play. ・When you sing "My fair lady.",the student who is it tag`s a student . ・It say "what`s your name?" ・The tagged stdent says "My name is 〇〇." ・Let`s sing "London Bridge"			
④<まとめ・ふりかえり>Self-assessment 本時でできたことに挙手をする。		④今日の活動をふりかえさせる。 ・English rulesに即し、児童の好ましい活動を賞賛する。		④今日の活動をふりかえさせる。 ALT praise students.			
⑤<あいさつ> Good - bye 英語であいさつをする。 ・Good bye songを歌う。 ・Good -bye. See you next time.		⑤児童にあいさつをさせる。 ・Sing with students. ・Good bye. See you next time. ・Thank you.		⑤ 児童とあいさつをする。 ・Sing with students.		【Song】"Good bye Song"	

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取り扱い教材	道徳との 関連性	
前期	6	○数字で遊ぼう！ Let's play with Numbers	2	【単元の目標】 ○英語の1～10の数や色を用いてコミュニケーションを楽しむ。 ○やり取りを通して、英語の色の言い方に親しむ。	・one,two,・・・,nine,ten ・What's colors? Red,Blue,Yellow,Orange,Green Purple,White,Brown,Black,Pink	【Song】 "Seven Steps" "Ten Little Penguins" "Colors I Like" 【Picture Book】 "Brown Bear Brown Bear What Do You See."	C(10) 規則の 尊重	
	7	○色で遊ぼう！ Let's play with Colors.	2	【6・7・月コミュニケーションにおける言語の働き】 ○事実・情報を伝える。 【活動到達目標との関連】 ○自分の好きな数字(色)を相手の目を見て伝えることができるようにする。 ○相手の目を見て話を聞くことができるようにする。				
★授業の例[7月]【本時の目標】英語の1～10の数字を使ってゲームをしながら、英数字に親しんだり、コミュニケーションを楽しむ。								
		児童の活動	H R T の活動		A L T の活動		取り扱い教材	SWITCH ON !
①〈あいさつ〉Greeting		・あいさつをする ・English Ruleの確認をする。	①児童にあいさつをさせる。 ・Good morning, Martin! ・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response		①児童とあいさつをする。 ・Good morning! How`re you. ・I'm fine ! Sit down , please. ・Confirm English Rules			
②〈ウォーム・アップ〉Warm up		・"Seven Steps"と"Ten Little Penguins"をジェスチャーを交えながら歌う。 ・"Hello Hello What`s your name"をジェスチャーをしながら歌う。	②児童と一緒に歌を歌う。 ・Let`s sing ."Seven Steps"with gestures! ・Sing with students ・Let`s sing "Ten Little Penguins".		②児童と一緒に歌を歌う。 ・Let`s sing .with gestures!		【Song】 "Seven Steps" "Ten Little Penguins"	【Song】 Grade1 Lesson2 No2 "Colors I Like"
③〈コミュニケーション活動〉Communication Activities (ふれる)Meaning practice		・"one,two,three,four,five.sex・・ten"を練習する。	③フラッシュカード等を用いて、数字の言い方をALTの発音を真似して、発声させる。		③言語教材を使ったデモンストレーションを見せながら、本時の活動内容を考えさせ、練習をさせる。 ・"one,two,three,four,five.sex・・ten"を練習させる。			
(慣れる) Pseudo-Communicative practice		・キーワードゲームをする。	Keyword gameのやり方をALTと共にやってみせる。 ・2～4人グループになり、真ん中に1つ消しゴムを置く。 ・キーワードとなる単語を決める。 ・ALTがそのキーワードを言ったら、消しゴムを取る。 ・消しゴムが取れたら勝ち。		Keyword Game をさせる。 Play game with HRT ・Make groups with 2~4students. ・Put on an eraser on center. ・ALT decide a keyword ・If you say the keyword,students take a eraser			
(親しむ)Real communication		・The 10 Number Basket をする。 ・円を作っていないに座る。	The 10 Number Basketのやり方の説明をする。 ・イスで1つの円を作る。(一人分のイスを抜いておく) ・数字を書いたカードを配っておく。 ・おにが言った数字を持っている人は席を移動する。 ・おにがNumber Basketと言ったら、全員が移動をする。		The 10 Number Basket をさせる。 ・Make your circle!And sit on the chair. Devil decide in the students. ・Let`s start the 10 Number Fruits Bascket! ・Say "Start game."			
④〈まとめ・ふりかえり〉Self-assessment		・絵本を聞く。	④今日の活動をふりかえさせる。 ・絵本の準備をする。 "Brown Bear Brown Bear What Do You See."		④今日の活動をふりかえさせる。 ・Read the picture book. ・"Good by Song"を児童と一緒にうたう。		【Picture Book】 "Brown Bear Brown Bear What Do You See."	
⑤〈あいさつ〉 Good - bye 英語であいさつをする。		・Good bye songを歌う。 ・Good -bye. See you next time.	⑤児童にあいさつをさせる。 ・Sing with students. ・Good bye. See you next time. ・Thank you.		⑤児童とあいさつをする。 ・Sing with students.		【Song】 "Good by Song"	

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取り扱い教材	道徳との 関連性	
後 期	8 9	○形で遊ぼう！ Let's play with Shapes	1 2	【単元の目標】 ○英語の形の言い方知り、コミュニケーションを楽しむ。 【8・9・10月コミュニケーションにおける言語の働き】 ○考えや意図を伝える。 【活動到達目標との関連】 ○自分の好きな形を相手の目を見て伝えることができるようにする。 ○相手の目を見て話を聞くことができるようにする。	・What's shape? Circle Triangle Square Star Diamond Heart ・Happy Halloween Jack-o-lantern, witch, black cat snack, Pumpkin, candy, Trick or Treat	【Song】 "Twinkle Twinkle Little Star" "The Shape Song #1 #2"	B(9) 友情 信頼	
★授業の例[7月]【本時の目標】買い物ゲームを通して、英語の形の言い方に親しんだり、コミュニケーションを楽しむ。								
		児童の活動	H R T の 活 動		A L T の 活 動		取り扱い教材	SWITCH ON !
①<あいさつ>Greeting		①児童にあいさつをさせる。	①児童とあいさつをする。		①児童とあいさつをする。			
・あいさつをする		・Good morning!	・Good morning! How`re you.		・Good morning! How`re you.			
・English Ruleの確認をする。		・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response	・I'm fine ! Sit down , please.		・I'm fine ! Sit down , please.			
			・Confirm English Rules		・Confirm English Rules			
②<ウォーム・アップ>Warm up		②児童と一緒に歌を歌う。	②児童と一緒に歌を歌う。		②児童と一緒に歌を歌う。		【Song】	
・歌を歌う。		・Let`s sing "Seven Steps" with gestures!	・Let`s sing "Seven Steps" with gestures!		・Let`s sing "Seven Steps" with gestures!		"Seven Steps"	
		・Sing with students						
		・Let`s sing "Ten Little Penguins".						
③<コミュニケーション活動>Communication Activities		③発音練習と3ヒントクイズをさせる。	③発音練習と3Hints quizeをさせる。		③発音練習と3Hints quizeをさせる。			
(ふれる)Meaning practice		答えになる形が入った物を3つ言う。	Practice pronunciation with flash cards.		Practice pronunciation with flash cards.			
・3ヒントクイズをする。		共通する形を答えさせる。	ALT give 3hints about shape.		ALT give 3hints about shape.			
			Ex.)Orange snowman soccerball		Ex.)Orange snowman soccerball			
			Ans.Circle		Ans.Circle			
(慣れる)Pseudo-Communicative practice		Dinosaur and meat(おはじきゲーム)をさせる。	Dinosaur and Meat gameをさせる。		Dinosaur and Meat gameをさせる。			
・Dinosaur and meat(おはじきゲーム)をする。		2人ペアでDinosaurとMeatに分かれる。	Role Play with HRT		Role Play with HRT			
		Dinosaurは手で口を作り、Meatの子がグーを口の中に置く	Dinosaur make mouth with a hand.		Dinosaur make mouth with a hand.			
		ALTが指定した単語を言ったら、Dinosaurは手を握る。	Meat make meat in dinosaur.		Meat make meat in dinosaur.			
		Meatは逃げる。	When ALT says keyword ,Dinosaur bite,Meat escape.		When ALT says keyword ,Dinosaur bite,Meat escape.			
(親しむ)Real communication		グループでロボット作りをすることを児童に伝える。	"Let's make a robot!"		"Let's make a robot!"			
・ロボットお買い物ゲームをする。		ロボットに必要な形のパーツを買い物してくる。	Student are devided into shoppers and customers.		Student are devided into shoppers and customers.			
		ShopperとCustomerにわかれて、お買い物タイムを取る。	Shoppers are shopping,Customers are selling.		Shoppers are shopping,Customers are selling.			
		交代。	Change.		Change.			
		最後を買ってきたパーツでロボットを作って、クラスの前で発表する。	They make a robot with their parts.		They make a robot with their parts.			
			※ALT give advices for children.		※ALT give advices for children.			
④<まとめ・ふりかえり>Self-assessment		④今日の活動をふりかえさせる。	④今日の活動をふりかえさせる。		④今日の活動をふりかえさせる。			
・絵本を聞く。		・絵本の準備をする。	・Read the picture book.		・Read the picture book.			
		"The Very Hungry Caterpillar."						
⑤<あいさつ> Good - bye		⑤児童にあいさつをさせる。	⑤児童とあいさつをする。		⑤児童とあいさつをする。		【Song】	
・英語であいさつをする。		・Sing with students.	・Sing with students.		・Sing with students.		"Good by Song"	
・Good bye songを歌う。		・Good bye. See you next time.						
・Good -bye. See you next time.		・Thank you.						

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取扱い教材	道徳との 関連性
後 期	10	○世界の行事を知ろう！	2	【単元の目標】○天気を英語で聞いたり、言ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> •Happy Halloween weather→ sunny,crowdy,rainy,windy,snowy •Merry Christmas! Snowman、Present、Candle、Stocking、Santa Clause、Ginger Cookies、etc. 	【Song】 “Twinkle Twinkle Little Star” “We Wish you a Merry Christmas” “The Weather song” 【Picture Book】 “The Sweet Smell of Christmas”	C(16) 国際理解・国際親善
	11	○天気を伝えよう！ Let's tell weathers!	2	○クリスマス(ハロウィン)の歌やゲームを通じてコミュニケーションを楽しむ。			
	12	○世界の行事を知ろう！ Let's enjoy world events.	2	【10・11・12月コミュニケーションにおける言語の働き】 ○事実・情報を伝える。 【活動到達目標との関連】 ○相手の目を見て天気を伝えることができるようにする。 ○相手の目を見て話を聞くことができるようにする。			
★授業の例[11月]【本時の目標】ゲームをしたり、絵本を聞いたりして天気のいい方を表わす英語に親しんだり、HRT、ALTや友だちと進んでコミュニケーションを楽しむ。							
		児童の活動	H R T の 活 動		A L T の 活 動	取扱い教材	SWITCH ON !
①〈あいさつ〉Greeting あいさつをする English Ruleの確認をする。		①児童にあいさつをさせる。 • Good morning, • Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response		①児童とあいさつをする。 • Good morning! How`re you. • I`m fine ! Sit down , please. • Confirm English Rules			
②〈ウォーム・アップ〉Warm up • 歌をジェスチャーをしながら歌う。 ”The Weather song”		② 児童と一緒に歌う。 • Sing with students. • Let`s sing “The Weather song”		② 児童と一緒に歌う。 • Sing with students.		【Song】 “Twinkle Twinkle Little Star” “We Wish you a Merry Christmas”	【Song】 Grade2 Lesson1 No7 ”The Weather song”
③〈コミュニケーション活動〉Communication Activities (ふれる)Meaning practice • Pointing Gameのやり方を知る。 (慣れる)Pseudo-Communicative practice • Massage game(伝言ゲーム)をする。		③本時は、天気についての言葉を慣れ親しむことを知らせALTと共にデモンストレーションを見せ、ルールを伝える。代表の児童が前に出てきて、ALTの言った天気カードを指 Massage gameのやり方をALTとデモンストレーションする。 • 列をつくり、先頭の児童に単語を伝える。 • 小さな声で伝言し、一番後ろの児童が前に出てきてカードをタッチする • 早く正確に伝えたチームの勝ち。		③発音練習とPointing gameをさせる。 • Practice pronunciation • Play Pointing game • Say a keyword ○Massage gameをさせる。 • Role Play with HRT • Students make lines • Tell a weather to the first child in the line, • The children whispers that word to the next child. • The last child in line choose the weather card and say the weather in a loud voice.			
(親しむ)Real communication • Weather Basket Gameをする。		Weather Basketをさせる。 • イスで1つの円を作る。(一人分のイスを抜いておく) • 天気を書いたカードを配っておく。 • おにが言った数字を持っている人は席を移動する。 • おにがWeather Bascketと言ったら、全員が移動をす		Weather Basket をさせる。 • Make your circle!And sit on the chair. Devil decide in the students. • Let`s start the Weather Basket! • Say “Start game.”			
④〈まとめ・ふりかえり〉Self-assessment • 絵本を聞く。		④今日の活動をふりかえさせる。 • 絵本の準備をする。				【Picture Book】 “The Sweet Smell of Christmas”	
⑤〈あいさつ〉 Good - bye 英語であいさつをする。 • Good bye songを歌う。 • Good -bye. See you next time.		⑤児童にあいさつをさせる。 • Sing with students. • Good bye. See you next time. • Thank you.		⑤ 児童とあいさつをする。 • Sing with students.			

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取り扱い教材	道徳との関連性				
後 期	1	○体の部位を知って楽しもう！ Let's enjoy talking about face and body parts.	2	【単元の目標】 ○顔や体など部位について英語で聞いたり、言ったりする。 ○教室の場所を伝える活動を通してコミュニケーションを楽しむ。	・Touch your ○○ (Hands, Head, Shoulders, Knees, Toes, Eyes, Ears, Mouth, Nose) Classroom, restroom, gym, playground, library, (teacher's, computer, music) office,	【Song】 "Head, Shoulders, Knees and Toes" "The Finger Family" "Mother Goony Bird" 【Picture Book】 "From Head to toe"	C(14) よりよい 学校生活・ 集団生活の 充実				
	2	○学校を英語で紹介しよう！ Let's introduce my school room!	2	【1・2・3月コミュニケーションの働き】							
	3		1	○事実や情報を伝える。 【活動到達目標との関連】 ○体の部位を用いた活動や学校紹介の活動を通して、コミュニケーションを円滑にできるようにする。 ○相手の目を見て話を聞くことができるようにする。							
★授業の例[1月]【本時の目標】顔や体などの部位についてゲームをしながら、部位の名前を聞いたり、言ったりしてコミュニケーションを楽しむ。											
児童の活動			HRTの活動		ALTの活動		取り扱い教材	SWITCH ON!			
①〈あいさつ〉Greeting ・あいさつをする ・English Ruleの確認をする。			①児童にあいさつをさせる。 ・Good morning, Martin! ・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response		①児童とあいさつをする。 ・Good morning! How're you. ・I'm fine! Sit down, please. ・Confirm English Rules						
②〈ウォーム・アップ〉Warm up ・歌をジェスチャーをしながら歌う。 "Head, Shoulders, Knees and Toes"			②児童と一緒に歌う。 ・Sing with students. ・Let's sing "Head, Shoulders, Knees and Toes" with gestures!		②児童と一緒に歌う。 ・Sing with students.		【Song】 "Head, Shoulders, Knees and Toes" "The Finger Family"	Grade1 Lesson2 "Mother Goony Bird"			
③〈コミュニケーション活動〉Communication Activities (ふれる) Meaning practice ・顔や体についての言葉を知る。			③本時は、顔や体の部位についての言葉を慣れ親し ことを知らせる。		③のフラッシュカードを見せながら、発音 する。 (head, shoulders, knees, toes, eye, ears, mouth, nose...)						
(慣れる) Pseudo-Communicative practice ・Simon says gameをする。			デモンストレーションを見せ、Simon says gameのやり 方を説明する。 ・「Simon says」と文頭についたら、ALTの言った部 位を触る。ただ体の部位を言っただけでは、触らな い。		HRTとデモンストレーションをする。 Role play with HRT If ALT says 「Simon says ~」→Students touch If ALT doesn't say「Siomon says」→students don't touch ※Speed up, faint are OK						
(親しむ) Real communication ・Draw monster gameをする。 1人1枚の紙と鉛筆を用意する。 prepare paper and a pen for each student			Draw monster gameのやり方を説明する。 ・あらかじめBodyを書いた紙を配り、ALTが言った 体の部位を書き足していく。		Draw monster gameをさせる。 Role play with HRT ALT says body parts. Students draw a monster, ・For example「Three eyes」「Four legs」						
④〈まとめ・ふりかえり〉Self-assessment ・絵本を聞く。			④今日の活動をふりかえさせる。 ・絵本の準備をする。 "From Head to toe"		④今日の活動をふりかえさせる。 ・Read the picture book.		【Picture Book】 "From Head to toe"				
⑤〈あいさつ〉 Good - bye ・英語であいさつをする。 ・Good bye songを歌う。 ・Good -bye. See you next time.			⑤児童にあいさつをさせる。 ・Sing with students. ・Good bye. See you next time. ・Thank you.		⑤児童とあいさつをする。 ・Sing with students.						
1年音楽の教科書に載っているEnglish Song			・Buzz Buzz Buzz (ぶん ぶん ぶん) ・Let`s Clap Hands (手をたたきましょう) ・TwinKle TwinKle Little Star (きらきらぼし)								
前期合計時数			9時間		後期合計時数		11時間		年間合計時数	20時間	

戸田市立〇〇小学校2学年 外国語活動年間指導計画

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取り扱い教材	道徳との関連
前期	4	〇こんにちは はじめまして Good day. (Nice to meet you.)	2	【単元の目標】 〇初めて会う人に、簡単なあいさつをする。 【4・5月コミュニケーションにおける言語の働き】	<ul style="list-style-type: none"> ・Hello. I'm 〇〇.Nice to meet you. ・Nice to meet you too. ・What's your name? ・My name is 〇〇. ・Good bye. 	【Song】 “Hello Song” “Hello Hello What`s your name?” 【Picture Book】 “The Very Hungry Caterpillar”	B(8) 礼儀 C(16) 国際理解、 国際親善
	5		2	〇相手との関係を円滑にする:挨拶をする。 <small>【活動到達目標との関連】</small> 〇自分からハローとあいさつをしたり、名前を言ったりすることができるようにする。 〇相手の目を見て話を聞くことができるようにする。			
★授業の例〔4月〕							
		児童の活動	HRTの活動		ALTの活動	取り扱い教材	SWITCH ON!
①<あいさつ>Greeting		①児童にあいさつをさせる。	①児童にあいさつをさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・Good morning, ・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response 		①Greeting児童とあいさつをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・Good morning! How`re you. ・I`m fine ! Sit down , please. ・Confirm English Rules 		
②ウォームアップ Warm-up		②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて)	②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて) Sing with students . Let`s sing “Hello Song” with gestures!		②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて) Sing “Hello Song” with gestures!	【Song】 “Hello Song”	【Song】 SWITCH ON! Grade1 No.1 “Hello Hello What`s your name?”
③コミュニケーション活動 Communication Activities		③ALTと「今日の表現」の会話をし、聞かせる。	③ALTと「今日の表現」の会話をし、聞かせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・Today`s topic is “Greeting” . ・Hello. I`m 〇〇. ・Nice to meet you. Nice to meet you. ・Bye. 		③Role play with HRT. <ul style="list-style-type: none"> ・Hello. I`m 〇〇. ・Nice to meet you. ・Bye. 		
<慣れる>Pseudo-Communicative practice		〇あいさつ競争のやり方をやってみせる。	〇あいさつ競争のやり方をやってみせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・Let`s play 2Line game! ・Play game with ALT. 		〇Play with HRT. <ul style="list-style-type: none"> ・Play game with HRT. ・Make two lines / ALT and HRT are in the front of the line A. ・HRT and ALT have a dialogue with the first student. ・When the dialogue is finished that student goes to the back of the line and the next student comes up. ・When all students finish, that team is the winner. 		
<親しむ>Real communication		〇めいしこうかんゲームをさせる	〇めいしこうかんゲームをさせる <ul style="list-style-type: none"> ・Let`s play the next game! ・あいさつし終わったら名刺交換。 ・5人とあいさつをし終わったら席に着く。 		〇Let`s play game! <ul style="list-style-type: none"> ・Play game with students. 		
④まとめ・ふりかえり Self-assessment		④まとめ・ふりかえり Self assessment	④まとめ・ふりかえり Self assessment <ul style="list-style-type: none"> ・Listen to the reading of the picture book. ・絵本朗読を聞く。 		④Self assessment <ul style="list-style-type: none"> ・Reading of picture book. ・絵本朗読をする。 	【picture book】 “The Very Hungry Caterpillar”	
⑤あいさつ Greeting		⑤児童にあいさつをさせる	⑤児童にあいさつをさせる “That is all for today.” “Thank you 〇〇.” “See you.”		⑤Greeting <ul style="list-style-type: none"> ・Good by. See you. 		

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取り扱い教材	道徳との関連	
前期	6	○動物園へ行こう	2	【単元の目標】 ○動物の名前を伝える。	動物の名前、鳴き声 ・What is this? dog(woof),cat(meow),rabbit,bird(tweet),snake, lion,elephant,tiger,horse(neigh),monkey,giraffe, pig(oink),mouse,cow(moo),sheep(baa),duck (quack,etc.)	【Song】 "Hunting We Will Go"(SWITCH ON! Grade1 No.5) "Old McDonald" 【Picture book】 "In the autumn forest"(Let's Try1 Unit9)	D(18) 自然愛護	
	7	Let's go to a zoo.	2	○情報や考えを伝える。 【活動到達目標との関連】 ○自分の好きなもの(動物)を相手の目を見て伝えることができるようにする。				
★授業の例								
		児童の活動	H R T の 活 動		A L T の 活 動		取り扱い教材	SWITCH ON!
①<あいさつ>Greeting ・あいさつをする。 ・English Ruleの確認をする。		①児童にあいさつをさせる。 ・Good morning, ・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response		①Greeting児童とあいさつをする。 ・Good morning! How're you. ・I'm fine! Sit down, please. ・Confirm English Rules				
②ウォームアップ Warm-up ・歌を歌う。 ・Sing "Old McDonald"		②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて)。 Sing with students . ・Let`s sing "Old McDonald" with gestures!		②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて)。 ・Sing "Old McDonald" with gestures!		【Song】 "Old McDonald"	【Song】 SWITCH ON! Grade1 No.5 "Hunting We Will Go"	
③コミュニケーション活動 Communication Activities <ふれる>Meaning practice ・What's this? ・This is a dog(cat,rabbit,...).		③ALTと「動物」の会話をし、聞かせる。 ・Today's topic is Animals. ・Show some kind of animals picture." ・What's this? ・動物カードをめくりながら、動物の名前に慣れ親しませる。 ・全員言えるようになったら、時間を競ったり、鳴き声を混ぜたりする。		③HRTと「動物」の会話をし、聞かせる。 ・Role play with HRT. ・This is dog(cat,rabbit,...).				
<慣れる>Pseudo-Communicative practice ・ミッシングゲームをする。		○ミッシングゲームの仕方をやってみせる。 ・Roll play with HRT. ・Let`s play missing game! ・黒板に貼ったカードを4, 5枚隠す。 ・隠されたカードを答える。		○"missing game"の仕方をやってみせる。 ・Roll play with HRT. ・ALT hides 4 or 5 cards on the blackboard. ・Students answer those hidden card.				
<親しむ>Real communication ・ジェスチャー&鳴き声ゲームをする。		○ジェスチャー&鳴き声ゲームをさせる。 ・4人班を作る。 ・1人が"What's this?"とたずね、ジェスチャーや鳴き真似をする。 ・他の3人が答える。 ※全員が、問題を出す人、答える人を順番で行う。		○"Gesture&sound game"をさせる "Gesture&sound game" ・Make groups of 4 students ・One student ask "What's this?" and then do gestures and make sounds. ・3 students answer the question.				
④Self-assessmentまとめ・ふりかえり ・絵本を聞く。		④動物カードを見せ、答えさせる。 絵本朗読を聞く。		④まとめ・ふりかえり ・Reading of picture book.		【picture book】 "In the autumn forest" (Let's Try1 Unit9)		
⑤あいさつ Greeting ・Thank you ○○. ・See you. Good bye.		⑤児童にあいさつをさせる "That is all for today." "Thank you ○○." "See you."		⑤Greeting ・Good by. See you.				

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取り扱い教材	道徳との関連
前期	9	○体や顔のゲームをしよう	2	【単元の目標】 ○体や顔のゲームを通じて友達とコミュニケーションを楽しむ。	Touch your○○. heads,shoulders,knees,toes,eye s,ears,mouth,nose,hand (and more.)	【Song】 “Head Shoulders Knees and Toes.” “Walking, Walking”(Switch on Grade1 No.6) 【Picture Book】 “ From Hand To Toe.”	B(9) 友情、信 頼
	10	Touch your body.	2	○相手の行動を促す:命令する。 【活動到達目標との関連】○相手の目を見て話を聞くことができるようにする。			

★授業の例

児童の活動	HRTの活動	ALTの活動	取り扱い教材	SWITCH ON!
①<あいさつ>Greeting ・あいさつをする。 ・English Ruleの確認をする。	①児童にあいさつをさせる。 ・Good morning, ・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response	①Greeting児童とあいさつをする。 ・Good morning! How're you. ・I'm fine! Sit down, please. ・Confirm English Rules		
②ウォームアップ Warm-up 歌を歌う ・Sing “Head Shoulders Knees and Toes”	②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて) Sing with students . ・Let`s sing “Head Shoulders Knees and Toes” with gestures!	②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて) ・Sing “Head Shoulders Knees and Toes” with gestures!	【Song】 “Head Shoulders Knees and Toes”	【Song】 SWITCH ON! Grade1 No.6 “Walking, Walking”
③コミュニケーション活動 Commuication Activities <ふれる>Meaning practice ・What's this? ・This is a head.	③ALTと「体の部分」の会話をし、聞かせる。 ・Role play with ALT ・Today's topic is “body parts”. ・Show some kind of body parts pic. ・What's this? ・体の部分カードをめくりながら、慣れ親しませる。	③HRTと「体の部分」の会話をし、聞かせる。 ・What's this? ・This is a head.		
<慣れる>Pseudo-Communcative practice ・“Simon-Says” game を行う。	○“Simon-Says”の仕方をやってみせる。 ・Roll play with HRT. ・Let`s play “Simon-Says” game! ・全員起立する。 ・最後まで立っていた人の勝ち。 ※班で行う。	○“Simon-Says”の仕方をやってみせる。 ・Roll play with HRT. ・Stand up . ・I say “Simon-Says” and you must do. ・I don't say “Simon-Says” and you don't move. ・If make a mistake, sit down.		
<親しむ>Real communication ・お面作りゲームをする。	○お面作りゲームをさせる。 ・店と客に分かれる。 ・客は好きな店に行き、好きな顔のパーツを手に入れる。 ・手に入れたパーツを使ってお面を作る。 ※色や大きさ等、様々なパーツがあるとよい。	○“Making a mask game”をさせる。 ・Students become shop keepers and customers. ・Customers go to the shops and get some face parts they want. ・They make their masks with the face parts they have.		
④Self-assessmentまとめ・ふりかえり 絵本を聞く。	④まとめ・ふりかえり Self assessment ・Listen to the reading of the picture book. ・絵本朗読を聞く。	④Self assessment ・Reading of picture book. ・絵本朗読をする。	【Picture Book】 “ From Hand To Toe.”	
⑤あいさつ Greeting ・Thank you ○○.” ・See you. Good bye .”	⑤児童にあいさつをさせる “That is all for today.” “Thank you ○○.” “See you.”	⑤Greeting “Good by. See you.”		

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取扱い教材	道徳との関連
後 期	11	世界の行事を知ろう！	2	【単元の目標】 ○世界の行事についてコミュニケーションを楽しむ。	Merry Christmas! snowman,present,candle,snow, light,bell,star,stocking,Santa Clause,(and more・・・)	【Song】 "Twinkle, Twinkle, Little Star"(Switch on Grade4 No.24) "We wish you a merry Christmas" 【Picture Book】 "The Sweet Smell of Christmas"	C(16) 国際理 解、 国際親善
	12	Let's take about global events !	2	【11・12月コミュニケーションにおける言語の働き】 ○考えを伝える。 【活動到達目標との関連】 ○自分の好きなものを伝えることができるようにする。 ○相手の目を見て話を聞くことができるようにする。			

★授業の例

児童の活動	H R T の 活 動	A L T の 活 動	取扱い教材	SWITCH ON!
①<あいさつ>Greeting ・あいさつをする。 ・English Ruleの確認をする。	①児童にあいさつをさせる。 ・Good morning, ・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response	①Greeting児童とあいさつをする。 ・Good morning! How`re you. ・I'm fine ! Sit down , please. ・Confirm English Rules		
②Warm-up<ウォームアップ> 歌を歌う ・Sing "We Wish a Merry Christmas"	②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて)。 ・Let`s sing "We Wish a Merry Christmas" with gestures!	②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて)。 ・Sing "We Wish a Merry Christmas" with gestures!	【Song】 "We Wish a Merry Christmas"	【Song】 SWITCH ON! Grade4 No.24 "Twinkle, Twinkle, Little Star"
③コミュニケーション活動Communication Activities <ふれる>Meaning practice ・クリスマスという行事について知る。	③Communication Activity <コミュニケーション活動> ・クリスマスに関する話を聞く。	③Communication Activity <コミュニケーション活動> ・クリスマスに関する話をし、聞かせる。 ・ALT talks about Christmas in his/her own countries.		
<親しむ>Real communication ・クリスマスカードを作る。	○クリスマスカード作りをさせる。 ・店と客に分かれる。 ・客は好きな店に行き、好きな形を手に入れる。 ・手に入れた形を組み合わせてカードを作る。	○クリスマスカード作りをさせる。 ・Make Christmas card with students. ・Students become shop keepers and customers. ・Customers go to the shops and get some shapes they like. ・They make their Christmas cards with the shapes they have.		
④Self-assessmentまとめ・ふりがえり ・絵本を聞く。 Listen to the reading of the picture book	④まとめ・ふりがえりSelf assessment ・Listen to the reading of the picture book. ・絵本朗読を聞く。	④Self assessment ・Reading of picture book. ・絵本朗読をする。	【Picture Book】 ".The Sweet Smell of Christmas"	
⑤あいさつGreeting ・Thank you ○○. ・See you.Good bye	⑤児童にあいさつをさせる "That is all for today." "Thank you ○○." "See you."	⑤Greeting ・Good by. See you.		

学期	月	単元・小単元名	時数	目 標	言語教材	取り扱い教材	道徳との 関連
後 期	1	○この色は何色？	2	【単元の目標】 ○色の言い方を使って、友達とコミュニケーションを楽しむ。 【1月コミュニケーションにおける言語の働き】 ○考えや気持ちを伝える。依頼する。	What's color ? (It's)red,blue yellow black,white,(and more)	【Song】 "Colors I like"(Switch on Grade1 No.2) "Sally's Wearing A Red Dress"(Switch on Grade4 No.20)	B(9) 友情、信 頼
	2	What color is this?	2	○考えや気持ちを伝える。依頼する。		【Picture Book】 "Brown bear brown bear , what do you see?"	
	3		2	【活動到達目標との関連】 ○自分の好きなもの(色)を相手の目を見て伝えることができるようにする。 ○相手の目を見て話を聞くことができるようにする。			

★授業の例

児 童 の 活 動		H R T の 活 動		A L T の 活 動		取り扱い教材	SWITCH ON!
①<あいさつ>Greeting ・あいさつをする。 ・English Ruleの確認をする。		①児童にあいさつをさせる。 ・Good morning, ・Nice smile, Eye contact, Clear voice, Good response		①Greeting児童とあいさつをする。 ・Good morning! How`re you. ・I'm fine ! Sit down , please. ・Confirm English Rules			
②Warm-up <ウォームアップ> 歌を歌う ・Sing "Colors I like"		②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて) ・Let`s sing "Colors I like" with gestures!		②児童と一緒に歌を歌う(振りをつけて) Sing "Colors I like" with gestures!			【Song】 SWITCH ON! Grade1 No.2 "Colors I like"
③コミュニケーション活動Communication Activities <ふれる>Meaning practice ・What's color ? ・It's red(blue yellow black,white,···).		○ALTと「色」に関する会話をし、聞かせる。 ・Role play with ALT ・Today's topic is "colors". ・What's color ? ・It's red(blue yellow,black,white,···)"		○HRTと「色」に関する会話をし、聞かせる。 ・Role play with HRT. ・What's color ? ・It's red(blue yellow black,white,···)			
<慣れる>Pseudo-Communicative practice ・色さがしゲームをする[Game1]		○「色さがしゲーム」の仕方をやってみせる。 ・Roll play with ALT. ・Let`s play "Touch the color game!" ・児童が"What's color?"と尋ねる。 ・ALT/HRTが"It's ○○"と答える。 ・ALT/HRTが言った色を教室内で探してタッチする。		○"Touch the color game"の仕方をやってみせる。 "Touch the color game" ・Students ask ALT/HRT "What's color?" ・ALT/HRT answers "It's ○○". ・Students touch the color ALT/HRT says.			
<親しむ>Real communication ・ぬりえゲームをする[Game2]		○ぬりえゲームをさせる ・児童一人一人に違う色の色鉛筆を持たせる。 ・教室の中を歩き、会った人とじゃんけんをする。 ・勝った人は、"○○(相手の持っている色), please".と言って、相手の色鉛筆を借り、自分のぬりえを塗る。		○"Coloring game"をさせる "Coloring game" ・Students have a color pencil. ・They walk around the classroom and play RSP. ・The winner can borrow the color pencil the			
④Self-assessmentまとめ・ふりかえり ・絵本を聞く。		④まとめ・ふりかえりSelf assessment ・Listen to the reading of the picture book. ・絵本朗読を聞く。		④Self assessment ・Reading of picture book. ・絵本朗読をする。		【Picture Book】 "Brown bear brown bear , what do you see?"	
⑤あいさつGreeting "Thank you ○○." "See you. Good bye .		⑤児童にあいさつをさせる "That is all for today." "Thank you ○○." "See you."		⑤Greeting "Good by. See you."			

戸田市の外国語活動における評価の観点とその趣旨を踏まえた評価規準（小3・4年）

〈 目指す子供像 〉 ①誰とでも主体的に関わろうとする子供 ②互いの気持ちや考えを英語で伝え合することができる子供 ③豊かな国際性を身に付けた子供

★児童の「学習活動状況」の「形成的評価」は「外国語科の評価の在り方と方法」に準じ、3観点に則して「9項目の目標準拠評価」を行う。

★「外国語活動の記録」の記入については、「通知」では文章記述欄を一本化した上で、評価の観点に則して「**児童の学習活動（～している）状況**」に**顕著な事項**がある場合にその特徴を記入する。

★「指導要録」では記録欄に観点ごとの枠を設けず、顕著な学習活動状況の特徴を文章で端的に記述する。

★いずれも、**児童にどのような資質・能力の素地が身に付いたかを記述**する。

「学習指導要領の3本柱」及び『各教科の観点別学習状況の3観点』		外国語活動の観点別評価の趣旨を踏まえた評価規準（領域別の評価規準の原典）
知識及び技能	知識・技能	①外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めている。 ②日本語と外国語との音声の違い等に気付いている。 ③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	①身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりしている。 ②自分の気持ちや考えなどを伝え合っている。 ③簡単な英語によるコミュニケーションの仕方を身に付けている。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	①外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 ②相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ③様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。

★道徳教育との関連

外国語（英語）活動における道徳教育の指導においては、道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、道徳教育の内容について、外国語（英語）活動の特質に応じた適切な指導をする必要がある。特に外国語（英語）活動においては、他者や集団とのかかわりを通して、活動が進められることから、常に道徳の内容 **B（主として人とのかかわりに関すること）**、**C（主として集団や社会とのかかわりに関すること）** と密接に関連を図る必要がある。また、他者や集団とのかかわりを通して、自分自身を見つめることができることから道徳の内容 **A（主として自分自身に関すること）** との関連も図る必要がある。以上のことを踏まえ、年間指導計画については、特に単元の内容と関連の深い道徳教育の内容を明示することとする。

令和2年度 戸田市立〇〇小学校第3学年 外国語活動年間指導計画

目指す子供像

①誰とでも主体的にかかわろうとする子供 ②互いの気持ちや考えを英語で伝え合うことができる子供 ③豊かな国際性を身に付けた子供

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	主な言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思	主				
4月 (4)	◎こんにちは・はじめまして Greetings and introductions (Let's Try!1 Unit1,2 SWITCH ON! G1- L1story1, song1/L2story4)	<ul style="list-style-type: none"> 日本と外国の挨拶や自己紹介の違いに気づく。 互いの名前を伝え合ったり、気分を尋ね合ったりするコミュニケーションに慣れ親しむ。 初めて会った人への英語での挨拶の仕方を用いて、友達やALTとのコミュニケーションを楽しむ。 	①	②	②	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の挨拶の違いに気づき、理解している。 挨拶及び自己紹介を通して、自分の考えや気持ちを伝えている。 	A:Hello I'm 【Akira】 . Nice to meet you. B:Nice to meet you, too. A:What's your name? B:My name is 【Akira】 . What's your name? A:My name is 【Miyuki】 . A:How are you? B:I'm 【fine】 . (happy, good, sleepy, hungry, tired, sad, great, . . .)	行動観察 ふり返りシート	B(8) 礼儀
	ALTや友達と挨拶したり、名前を教え合ったりすることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 自分の好きなことなどについて、動作を交えて伝えることができるようにする。				②	②		
5月 (6)	◎私はピザが好きです。(食べ物) I like pizza. (Foods) ※I like～の表現を用いる単元が6月も同じで続いている。1つにまとめてもよい。(Let's Try!1 Unit4)	<ul style="list-style-type: none"> 日本と外国の食べ物の違いについて興味をもつ。 英語で好きか嫌いかわからず尋ねたり答えたりして、自分の気持ちや考えを伝える。 様々な食べ物の言い方を知り、好き嫌いについて、たずねたり答えたりしながらコミュニケーションを楽しむ。 	①	②	②	<ul style="list-style-type: none"> 日本と外国の食べ物の言い方の違い等に気づき、理解している。 食べ物の好き、嫌いについて尋ねたり答えたりして、自分の気持ちや考えを伝えている。 	A:I like 【pizza】 . A:I don't like 【pizza】 . (sushi, tomatos, soup, . . .) A:Do you like 【pizza】 ? B:Yes(, I do). I like pizza. No(, I don't). I don't like natto. A:I like 【pizza】 . B:Pizza? Nice! Me too!	行動観察 ふり返りシート	B(6) 親切、思いやり
	自分の好きな食べ物についてALTや友達に伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 自分の好きな食べ物をはっきりと大きな声で伝えることができるようにする。 相手の好きな食べ物を聞いて、大まかに理解できるようにする。				②	②		

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点		評価規準	主な言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思 主				
6月 (8)	◎動物大好き! I like animals! ※レットトライ1Unit9を活用してWho are you?クイズを動物でもすることも考えられる。 (Let't Try!1 Unit4, 5, 9 SWITCH ON! G1-story5, story6/L3song5)	・動物の鳴き声について、日本と外国の表現の違いに興味をもつ。 ・英語で好きな動物をたずねたり答えたりして、友達やALTと自分の考えや気持ちを伝える。 ・主な動物の言い方を知り、好きな動物をたずねたり伝えたりしながらコミュニケーションを楽しむ。	①	②	・英語と日本語の鳴き声の違いに気付き、理解している。 ・動物の好き嫌いについて、尋ねたり、答えたりして、自分の考えや気持ちを伝えている。 ・動物の言い方を知り、ALTや友達と主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A:What's this? B:Lion. It's a Lion. (dog, cat, horse, frog, pig, cow, elephant, monkey, mouse, sheep, giraffe) →ジェスチャークイズや鳴き声当てクイズなどを取り入れる A:Do you like elephants? B:Yes, I liuke elephants. B:No, [I don't] . I like [monkys] . A:What animal do you like? B:Horses. I like [horses] . Who are you? I'm dog. ...	行動観察 ふり返りシート	B(6) 親切、思いやり
	自分が好きな動物についてALTや友達に伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 自分の好きな動物をはっきりと大きな声で伝えることができるようにする。 相手の好きな動物を尋ねて、理解できるようにする。						
7月 (6)	◎スポーツを楽しもう! Let's have fun with sports! (Let't Try!1 Unit4, 5 SWITCH ON! G4-L1story19)	・日本発祥のスポーツと外国で盛んなスポーツの違いについて興味をもつ。 ・英語で好きなスポーツをたずねたり、答えたりして、コミュニケーションに慣れ親しむ。 ・スポーツの言い方を知り、好きなことについて伝えたりたずねたりしながらコミュニケーションを楽しむ。	①	②	・日本と外国の盛んなスポーツの違いに気付き、理解している。 ・スポーツについて、尋ねたり答えたりして、自分の気持ちや考えを伝えている。 ・スポーツの言い方を知り、ALTや友達と主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A:I play [baseball] . (tennis, soccer, volleyball, softball, basketball, badminton). A:Do you like volleyball? B:Yes, [I do] . No, [I' don't] . I like ~. A:What sports do you like? B:I like basketball. A:What sports do you play ? B:I play [tennis] . ※スポーツだけでなく食べ物や野菜・果物などで活動ができる。	行動観察 ふり返りシート	A(4) 個性伸長
	◎自分の好きなスポーツについてALTや友達に伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 自分の好きなスポーツをはっきりと大きな声で伝えることができるようにする。 相手の好きなスポーツを聞いて、大まかに理解できるようにする。						
8・ 9月 (6)	◎会話を楽しもう! Let's enjoy communication ! (Year Review) (Let's Try!1 Unit1, 2, 4, 5)	・外国語活動で学んだことを振り返りながら、日本と外国の言葉の違いを理解する。 ・英語で自己紹介をしたり、質問をしたりしながら、自分の気持ちや考えを伝える。 ・外国語活動で学んだことを振り返りながら、さまざまな表現を用いて積極的にコミュニケーションを図る。	①	②	・外国語活動で学んだことを振り返りながら、日本と外国の言葉の違いに気付き、理解している。 ・外国語活動で学んだことを振り返りながら、英語で自己紹介をしたり、質問をしたりするなど、自分の気持ちや考えを伝えている。 ・外国語活動で学んだことを振り返りながら、さまざまな表現を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A:Hello! My name is [Akira] . What's your name? B:My name is [Miyuki] . A:Nice to meet you. B:Nice to meet you too. A:What's this? B:It's rooster. A:Do you like rooster? B:Yes, I do. / No, I don't. *好き嫌いを聞く際には、動物に代えて食べ物やスポーツでもいい。 *What's this?ではジェスチャーなどでお互いにクイズをする *What ~ do you like?の表現にも触れられたら触れて会話を膨らませる	行動観察 ふり返りシート	B(7) 感謝
	外国語活動を通して学んできたことを振り返り、活動を楽しみ、お互いに交流することができるようにする。。	【活動到達目標との関連】 動作などを使って、相手を褒めたり相槌を打ったりすることができるようにする。						

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点		評価規準	主な言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思 主				
10月 (8)	◎サンドウィッチをつくろう！ Let's make sandwiches！ (Let's Try!1 Unit7 Let's Try!2 Unit7)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の行事について興味をもつ。 ・野菜や果物について、好き嫌いを伝えたりたずねたりして、自分の気持ちや考えを伝える。 ・果物や野菜の英語名を知り、好き嫌いについて伝えたりたずねたりしながら、ALTや友達と積極的に関わろうとする。 	①	②	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の行事について理解している。 ・果物や野菜についての好き嫌い等をたずねたり答えたりして、自分の気持ちを伝えている。 ・果物や野菜の言い方を知り、ALTや友達と主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 	A:What do you want? B:Some apples, please. A:OK. Here you are. B:Thank you. A:You're welcome. (bananas, peaches, grapes, apples, oranges, pears, kiwis, lemons, pineapples, potatoes, carrots, tomatoes, cucumbers, lettuce, broccoli, onions) ※欲しい食材を使ってオリジナルメニューを作成する場面設定が考えられる	行動観察 ふり返りシート	B(6) 親切、思いやり C(16) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度
	果物屋で果物がいくつあるか、いくつほしいか等の数を伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 基本的な表現を用いて、挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができるようにする。	②					
11月 (8)	◎色で遊ぼう Fun with colors! ◎アルファベットとなかよし ALPHABET ※色についてもI like～の単元で扱えるので、11月はアルファベットに焦点を当てた方がよい。 (Let's Try!1 Unit4,6 SWITCH ON! G1-L1song2)	<ul style="list-style-type: none"> ・主な色の言い方に慣れ親しみながら、日本と外国の言葉の違いに興味をもつ。また、身の回りには、活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 ・英語で好きな色についてたずねたり答えたりして、自分の気持ちや考えを伝える。 ・主な色の言い方を知り、好きな色を伝えたりたずねたりしながら、友達やALTとのコミュニケーションを図る。 	①	②	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りには、活字体の文字で表わされているものがあることに気付き、理解している。 ・好きな色についてたずねたり答えたりして、自分の気持ちや考えを伝えている。 	A:What color do you like? B:I like red. What color do you like? (green, blue, red, yellow, orange, white, black, purple, brown...) A:I like white. A:(Card "A"), please. B:Here you are. A:Thank you. B:You're welcome. ※身近な活字体の文字集め(NHK、WCなど)のカードに色を塗らせて集めるような活動設定も考えられる。	行動観察 ふり返りシート	B(9) 友情、信頼
	自分の好きな色をALTや友達に伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 自分の好きな色をはっきりと大きな声で伝えることができるようにする。 相手の好きな色を聞いて、大まかに理解できるようにする。	②					
12月 (6)	◎数で遊ぼう！数字(1～20) Fun with numbers！ (Let's Try!1 Unit3,7)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と外国での数の言い方の違いに興味をもつ。 ・英語で数を数えたり答えたりすることで、1から20までの数の言い方に慣れ親しむ。 ・いろいろな物についていくつあるかをたずねたり答えたりして、コミュニケーションを楽しむ。 	①	②	<ul style="list-style-type: none"> ・英語と日本語の言い方の違いに気付き、理解している。 ・数や形の言い方について、尋ねたり答えたりして、自分の考えや気持ちを伝えている。 	A:Do you like red? B:Yes./No.Yes, I do./No, I don't. A:How many red circles(do you want)? (What do you want?) B:Two (red circles). A:How many snowmans(do yo want?) (reindeer, bells, candy canes, etc) B:Three (snowmen). Which snowman do you like? A:I like this snowman.	行動観察 ふり返りシート	B(6) 親切、思いやり
	世界の行事を表す絵を見て、いくつあるか数を伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 身の回りの物について、動作を交えて伝え合うことができるようにする。	②					

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	主な言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思	主				
1月 (6)	◎体や顔をつくろう! Fun with body parts ※体や顔に関する表現は1・2年でも扱っている。(Let's try!Unit9)	・体や顔の部分の言い方に慣れ親しみながら、日本と外国の言葉の違いに興味をもつ。 ・体や顔の部分の言い方を知り、相手が伝えようとしていることを理解し、反応する。 ・体や顔の部分の言い方を知り、相手に指示したり、指示を聞いて動いたりしながら、コミュニケーションを図る。	①			・日本と外国の言葉の違いに気付き、理解している。 ・体や顔の部分の言い方を知り、相手が伝えようとしていることを理解し、答えている。	Touch your head. head(shoulders, knees, toes, eyes, ears, mouth, nose...) <Giving each student a printed character sheet> A:How many fingers do you have? B:I have ten. How many fingers do you have? A:I have three.	行動観察 ふり返りシート	B(9) 友情, 信頼
	ゲームを通して、友達に指示をしたり、指示をされたりすることで行動を促すことができるようにする。	【活動到達目標との関連】 基本的な表現を用いて、簡単な指示をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。			②	・体や顔の言い方を知り、ALTや友達と主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	※Unit9は、絵本の読み聞かせ単元である。動物の体の部分の振り返りができる。		
2月 (6)	◎教室にあるもの・これは 何? Classroom objects What's this ? (Let's Try!1 Unit8 Let's Try!2 Unit5)	・教室にあるものを表す言葉や日本と外国の言葉の違いに興味をもつ。 ・英語でわからないものをたずねたり答えたりしながら、自分の気持ちや考えを伝える。 ・教室にあるものの言い方を知り、クイズなどをおして、たずねたり答えたりしながらコミュニケーションを図る。 ※乗り物はずす。	①			・教室にあるもの等の言い方を知り、日本語と外国語の言い方の違いに気付いている。 ・英語でわからないものを尋ねたり答えたりしながら、自分の気持ちや考えを伝えている。	A:What's tsukue in English? B:It's a desk. (table, chair, clock, blackboard, television, wall, door, window) A:How many pencils do you have? B:I have four. How about you? A:I have ten.	行動観察 ふり返りシート	C(15) よりよい学校生活, 集団生活の充実
	教室にある物の名前を英語で伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 ゆっくりはっきりと話された際に教室にある物などを聞いて、理解できるようにする。			②	・クイズなどを通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	※相手にプレゼントしたい文房具セットを考えて紹介する場面設定が考えられる		
3月 (6)	◎英語のコミュニケーションを楽しもう! Let's enjoy communication! (Year review) (Let's Try!1 Unit1, 2, 3, 4, 5, 7, 8)	・外国語活動で学んだことを振り返りながら、日本と外国の言葉の違いを理解する。 ・英語で自己紹介をしたり、質問をしたりしながら、自分の気持ちや考えを伝える。 ・外国語活動で学んだことを振り返りながら、さまざまな表現を用いて積極的にコミュニケーションを図る。	①			・外国語活動で学んだことを振り返りながら、日本と外国の言葉の違いに気付き、理解している。 ・外国語活動で学んだことを振り返りながら、英語で自己紹介をしたり、質問をしたりするなど、自分の気持ちや考えを伝えている。	A:Hello!How are you? B:I'm fine, thank you. And you? A:I'm fine, too. Thank you. What animal do you like? B:. I like dogs. How about you ? A:I like lions. Why do you like dogs? B:Because they are cute. Why do you like lions? A:Because they are strong.	行動観察 ふり返りシート	B(7) 感謝
	外国語活動を通して学んできたことを振り返り、活動を楽しみ、お互いに交流することができるようにする。	【活動到達目標との関連】 人前で実物等を見せながら、はっきりと大きな声で伝えることができるようにする。			②	・外国語活動で学んだことを振り返りながら、さまざまな表現を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			

戸田市の外国語活動における評価の観点とその趣旨を踏まえた評価規準（小3・4年）

〈 目指す子供像 〉 ①誰とでも主体的に関わろうとする子供 ②互いの気持ちや考えを英語で伝え合することができる子供 ③豊かな国際性を身に付けた子供

★児童の「学習活動状況」の「形成的評価」は「外国語科の評価の在り方と方法」に準じ、3観点に則して「9項目の目標準拠評価」を行う。

★「外国語活動の記録」の記入については、「通知」では文章記述欄を一本化した上で、評価の観点に則して「**児童の学習活動（～している）状況**」に**顕著な事項**がある場合にその特徴を記入する。

★「指導要録」では記録欄に観点ごとの枠を設けず、顕著な学習活動状況の特徴を文章で端的に記述する。

★いずれも、**児童にどのような資質・能力の素地が身に付いたかを記述**する。

「学習指導要領の3本柱」及び『各教科の観点別学習状況の3観点』		外国語活動の観点別評価の趣旨を踏まえた評価規準（領域別の評価規準の原典）
知識及び技能	知識・技能	①外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めている。 ②日本語と外国語との音声の違い等に気付いている。 ③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	①身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりしている。 ②自分の気持ちや考えなどを伝え合っている。 ③簡単な英語によるコミュニケーションの仕方を身に付けている。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	①外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 ②相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ③様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。

★道徳教育との関連

外国語（英語）活動における道徳教育の指導においては、道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、道徳教育の内容について、外国語（英語）活動の特質に応じた適切な指導をする必要がある。特に外国語（英語）活動においては、他者や集団とのかかわりを通して、活動が進められることから、常に道徳の内容 **B（主として人とのかかわりに関すること）**、**C（主として集団や社会とのかかわりに関すること）** と密接に関連を図る必要がある。また、他者や集団とのかかわりを通して、自分自身を見つめることができることから道徳の内容 **A（主として自分自身に関すること）** との関連も図る必要がある。以上のことを踏まえ、年間指導計画については、特に単元の内容と関連の深い道徳教育の内容を明示することとする。

令和2年度 戸田市立〇〇小学校第4学年 外国語活動年間指導計画
目指す子供像

①誰とでも主体的にかかわろうとする子供 ②互いの気持ちや考えを英語で伝え合うことができる子供 ③豊かな国際性を身に付けた子供

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思	主				
4月 (4)	◎ごきげんいかが? How are you? (Let's Try!1 Unit1,2)	・体験を通して、日本と外国では自分の 思いを伝えるジェスチャーに違いがある ことに気づく。 ・相手の挨拶に対し、自分の気持ちを答 える表現を用いてコミュニケーションに 慣れ親しむ。 ・表情豊かに挨拶をしながら、友達や ALTと会話しコミュニケーションを楽し む。	①	②	②	・日本と外国では自分の思いを伝えるジェス チャーに違いがあることに興味をもっている ・身の回りには活字体の文字で表わされている ものがたくさんあることに気づくとともに、活 字体の小文字を識別している。 ・相手の挨拶に対し、自分の気持ちを伝えている。	A: Good morning, (Mike) (evening, night) B: Good morning, (Toshi). (evening, night)	行動観 察 ふり返りシ ート	B(8) 礼儀
	ALTや友達と挨拶したり、気持ちを伝 え合ったりすることができるようにす る。	【活動到達目標との関連】 自分の好きなことなどを入れながら自己 紹介をしあうことができるようにする。				・外国の人や友達に対して主体的に挨拶をしよ うとしている。			
5月 (6)	◎今日の天気は？暑い？寒い？ How is the weather? (Let's Try!2 Unit2 Switch on G2L1 song7,8/G5L1 story26)	・外国のいろいろな都市の気候と日本の 気候との違いについて興味をもつ。 ・天気や自分の好きな遊びについてたず ねたり答えたりする表現を用いてコミュ ニケーションに慣れ親しむ。 ・天気や自分の好きな遊びについて話そ うとしたり答えようとしてしたりして、積極 的にコミュニケーションを図る。	①	②	②	・外国と日本の気候との違いについて気づいて いる。 ・天気や自分の好きな遊びについてたずねたり 答えたりしている。	A: How is the weather? B: (It's) rainy. (cloudy, snowy) A: Let's play cards. (game/tag/jump rope/bingo) B: Yes, let's. /No, sorry. A: How is the weather? B: (It's) sunny and hot. Can we swim? (basebal, soccer) A: Yes. Let's We play soccer, too.	行動観 察 ふり返りシ ート	B(6) 思いや り・親 切
	特定の町や地域についてたずねたり、答 えたりする活動を通して、ALTや友達 に事実や気持ちを伝えることができるよ うにする。	【活動到達目標との関連】 自分の好きな遊びについて動作を交えて 伝え合うことができるようにする。				・天気や自分の好きな遊びについて話そうとし たり答えようとしてしたりして、主体的にコミュ ニケーションを図ろうとしている。			

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思	主				
6月 (8)	◎何時なの? What time is it? ◎数字(1~60) (Let's Try!2 Unit 4 Switch on G2L1 story7,8/G4L1 story19)	・いろいろな国の時刻と日本の時刻を比べ、日本と外国の時刻には違いがあることを知る。 ・時刻のたずね方・答え方など事実を伝える言い方を用いたコミュニケーションに慣れ親しむ。 ・時刻をたずねようとしたり、答えようとしたりして友達やALTとのコミュニケーションを楽しむ。	①	③	②	・外国の時刻をたずねることで、日本の文化との違いに興味をもち、その違いに気付き、理解している。 ・時刻を含む日常生活について尋ねたり答えたりしている。	A: What time is it? B: [It's] 3 [o'clock]. A: It's homework time. (snacktime, dinner time, bath time, bed, dream, wake up, breakfast, luynch, dinner) How about you? B: Me, too! ※新教材では、時刻から普段の生活について話を続けるようになってきている。 ※a.m./p.m./about A: What time is it in New York? B: [It's] 9 in the morning. (in the afternoon). (NewYork time is Japan time -14h) (L.A. time is Japan time -17h)	行動観察 ふり返りシート	C(16) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度
	特定の国や町の時刻をたずねたり、答えたりする活動を通して、ALTや友達に事実や気持ちを伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 時刻を尋ねたり答えたりし、サポートを受けながら相手や自分の普段の生活について質問したり質問に答えたりすることができるようにする。							
7月 (6)	◎乗り物の名前 Vehicles (Let's Try!1 Unit8 Let's Try!2 Unit5)	・乗り物を表す言葉や日本と外国の言葉の違いに興味をもつ。 ・英語でわからないものをたずねたり答えたりしながら、自分の気持ちや考えを伝える。 ・乗り物の言い方を知り、クイズなどをおして、たずねたり答えたりしながらコミュニケーションを図る。	①	②	②	・教室にあるもの等の言い方を知り、相手が伝えようとしていることに対して的確に反応することで、その言い方を理解している。 ・英語でわからないものをたずねたり答えたりしながら、自分の気持ちや考えを伝えている。	A: What's kuruma in English? B: It's a car. (plane, bus, boat, train, taxi, bicycle...) A: What vehicles do you like? B: Car. I like a car. How about you? A: Train. I like a train. ※生活場面の中でどの乗り物で移動するか尋ねる活動をし、様々な乗り物の名前の言い方に触れさせる。	行動観察 ふり返りシート	B(9) 友情・信頼、 助け合い
	自分の好きな乗り物について伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 自分の好きなものをはっきりと大きな声で伝える事ができるようにする。 相手の好きな食べ物やスポーツを聞いて、大まかに理解できるようにする。				・乗り物の言い方を知り、クイズなどをおして、たずねたり答えたりしながらコミュニケーションを図ろうとしている。			

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思	主				
8・ 9月 (6)	◎アルファベットで遊ぼう Alphabet (Let's Try!1 Unit8 Let's Try!2 Unit6 Switch on G1L3 story5) ◎前期の復習 Let's enjoy communication. (Let's Try!1 Unit1, 2, 5, 8 Let's Try!2 Unit2, 4, 6)	・身の回りには活字体の文字で表されて いるものがたくさんあることに気付くと ともに、活字体の小文字を識別し、文字 の読み方に慣れ親しむ。また、外国語活 動で学んだことを振り返りながら、日本 と外国の言葉の違いについて理解する。 ・前期に慣れ親しんだいろいろな表現を 使って、英語でALTや友達と話したり聞 いたりして交流する。 ・前期に慣れ親しんだいろいろな表現を 使って、友達と積極的にコミュニケー ションを図る。	③			・外国語活動で学んだことを振り返りながら、 日本と外国の言葉の違いに気づき、理解してい る。 ・外国語活動で学んだことを振り返りながら、 自分の好きな物を伝えたり、質問したりしてい る。	A: Hello. My name is ○○. What's your name? B: ○○. My name is ○○. Nice to meet you. A: Nice to meet you, too. I like (tennis). What sport do you like? B: Baseball. I like (baseball) . A: How are you? B: (I'm) great. (good, fine, hungry, sleepy, not so good, happy, hot, ...)	行動観 察 ふり返 りシー ト	B(7) 感謝
	外国語活動を通して学んできたことを振 り返り、活動を楽しみ、お互いに交流を することができるようにする。	【活動到達目標との関連】 文字の読み方が発音されるのを聞いてど の文字であるかが分かるようにする。		③	・外国語活動で学んだことを振り返りながら、 さまざまな表現を用いて主体的にコミュニケー ションを図ろうとしている。	A: What's this? B: Hint, please. How many letters? A: Three. I have (Three). B: Do you have (a "b")? A: Yes, I do. /No, I don't. B: Dog? A: Yes. That's right. /No. ※アルファベットの文字クイズを出したり 答えたりする場面を設定する			
10 月 (8)	◎身に着けるもの これは私の帽子で す。 This is my cap. (items of clothing) (Let's try!2 Unit5)	・ALTの話聞くなどして世界の国の服 装について興味をもつ。 ・身につける物に関する基本表現を用い たコミュニケーションに慣れ親しむ。 ・身につける物の持ち主をたずねたり、 自分の持ち物についてコミュニケーシ ョンを楽しむ。	①			・世界の国の服装について興味をもっている。 ・身につける物に関する表現を用いて持ち主を 尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合っ ている。	A: Whose cap is this? B: [It's] my cap. A: It's nice. (cute, cool) B: Thank you! ※物を話題にしたコミュニケーション活動なの で... ○持ち物の絵を用意して、物語の登場人物や有 名人の物の絵や写真を見せて尋ねることでリア ルコミュニケーションに近づける方法も考えら れる。 Ex) ガラスの靴、如意棒、小さなお椀と箸 ○教師の持ち物を写真にとっておいてクイズに する方法も考えられる。 ※ gluestick, scissors, pen, steapler, magnet, de sk, chairなど衣類だけでなく文房具など自分の使 う身近なものを使った場面設定も考えられる。	行動観 察 ふり返 りシー ト	A(4) 個性伸 長
	自分や相手の物を話題にして、自分の考 えや意図を伝えたり、相手の考えや意図 を聞いたりすることができるようにす る。	【活動到達目標との関連】 自分のことをはっきりと大きな声で伝え ることができるようにする。また、ジェ スチャーなどを使って相手をほめること ができるようにする。		②	・自分の持ち物を話題にして主体的にコミュニ ケーションを図ろうとしている。				

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思	主				
1 1 月 (8)	◎3ヒントゲームをしよう(色々な形容表現) Characteristics of objects (Let's try!1Unit6,8)	・簡単な形容の言い方に慣れ親しみながら、日本語と英語の違いを理解する。 ・自分の持ち物などについて、簡単な形容の表現を用いたコミュニケーションに慣れ親しむ。 ・ものの特徴を表す表現を用いて、質問したり答えたりしながらALTや友達と積極的に関わる。	②	③	②	・主な形容の言い方に慣れ親しむとともに、日本語と英語の違いについて気づき、理解している。 ・簡単な形容の言い方を用いて、ALTや友達と質問したり答えたりしている。	A: Hint, please. B: [It's] an animal. [It's] big. [It's] gray. What's this? B: [It's] an elephant. A: That's right. ※下線部は別の言葉でもよい。(foodなど) ※クイズ大会の場面設定が考えられる ※Let's Try!1 Unit8のデジタル教材を活用できる。	行動観察 ふり返りシート	C(11) 規則の 尊重
	身近な物やよく知っている物を話題にして、自分の考えや意図を伝えたり、相手の考えや意図を聞いたりすることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 身近な物や話題について自分の考えや意図を伝えることができるようにする。				・ものの特徴を表す表現を用いて、ALTや友達と主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
1 2 月 (6)	◎形を作ろう!どんな形なの? Let's make shapes! (Let's Try!1 Unit7)	・外国の歌やゲームを知り、外国の文化に対する理解を深める。 ・身近な物の形を表す言葉を用いて、進んで使ったり相手の話を聞いたりしてコミュニケーションを図る。 ・いろいろな形について話したり聞いたりしてALTや友達と積極的にコミュニケーションを図る。	①	②	②	・外国の歌やゲームを知り、外国の文化に興味をもっている。 ・身近な物の形を表す言葉を用いて、進んで相手の話を聞いたりして、互いの考えを伝え合っている。	A:Small(big・・)circle (square, triangle・・), please. B: How many [do you want]? A: Two, please. B: What color do you like(want)? (What do you want?) A: I like(want) blue(red, yellow, green, white, etc.). B: Here you are. A: Thank you. ※グループで一つのTシャツをデザインする。Tシャツの形をした画用紙に、好きな形はっていく。 ※Tシャツだけでなく雪だるまなど協力してデザインする活動も考えられる。	行動観察 ふり返りシート	C(16) 伝統と 文化の 尊重、 国や郷 土を愛 する態 度
	ALTや友達と一緒に、外国の歌を歌ったりゲームをしたりすることができるようにする。 身近な物や食べ物等の形等の特徴を調べる活動を通して、考えや意図を伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 自分の好きなことをはっきりと大きな声で伝えることができるようにする。 ジェスチャーなどを使って相手をほめることができるようにする。 相手の好きな物を聞いて、大まかに理解できるようにする。				・ALTや友達と様々な形について、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
1月 (6)	◎体を動かそう! Let's move our body! (Let's Try!2 Unit2,9 Switch on G1L3 song6/G2L3 story11, 12)	・英語の動作を表す言葉に興味をもち、日本と外国の言葉の違いに気づく。 ・英語の指示を聞いてその動作をしたり、英語で指示を出したりするゲームを通して友達やALTと交流する。 ・身近な動作の言い方を知り、指示を聞いて動作をしたり、相手に指示したりして、相手の行動を促すコミュニケーションを楽しむ。	①	③	③	・英語の動作を表す言葉に興味をもち、日本と外国の言葉の違いに気づき、理解している。 ・身近な動作の言い方を知り、指示を聞いて動作をしたり、相手に指示したりしてコミュニケーションを図っている。	A: Close your book. (Open, clear your desk, run, walk, stand, sit, stop, jump, turn, run, look, put, touch) A: Be quiet. or Don't walk. ※hand/leg... ※いろいろな動詞を使って命令ゲームをする。指示出しは、ALTだけでなく児童にも行わせる。 ※ほめことばを使う。(Good job, Nice, great など) ※Let's Try! 2Unit 9の日課の動作などを場面設定として活用してもよい。	行動観察 ふり返りシート	C(15) よりよい学校 生活、 集団生活の充 実
	身体を動かすゲーム等を通して、相手の行動を促すことができるようにする。	【活動到達目標との関連】 相手の行動を促すコミュニケーションができるようにする。				・様々な指示を出す活動を通じて、ALTや友達と主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			

時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思	主				
2月 (6)	◎どこに物があるか知ろう It's on the desk. (Let's Try!2 Unit5 Switch on G3L2 story15)	・英語の場所を表す言葉に興味をもち、日本と外国の言葉の違いに気づく。 ・自分の持ち物などの置いてある場所について、友達やALTと交流する。 ・物のある場所について相手に聞いたり答えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ。	①	③	③	・英語の場所を表す言葉に興味をもち、日本と外国の言葉の違いに気づき理解している。 ・物のある場所について相手に尋ねたり答えたりして、ALTや友達とコミュニケーションを図っている。 ・持ち物などの置いてある場所をたずねる活動を通して、主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。	宝さがしゲーム A: Where's my cap? B: [It's] on the desk. (on, in, under,) A: Thank you. ※自分の宝物を絵に描き、ペアで宝さがしを行う。 ※いろいろなものの場所についての表現に慣れさせる。 ※自分たちの英語名をよく知っている英語の絵カードを5枚程度用意し英語名を確認する。それを裏返し、教卓の上、椅子の上と下、教科書などの上、下、箱状のものの中、下に置き、Where is the my pen?Is it on the desk?Is it in the bag?Is it under the bag?などと「やり取り」を通して対話を養う。 ※We can!1Unit7のチャンツや物の置いてある場所のデジタル教材が活用できる。	行動観察 ふり返りシート	B(9) 友情, 信頼
	物のある場所について、ALTや友達に聞いたり、答えたりする活動を通して、事実を伝えることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 物のある場所をはっきりと大きな声で伝えることができるようにする。また、物のある場所を聞いて、大まかに理解できるようにする。							
3月 (6)	◎英語で楽しもう! 4年生のまとめ Let's enjoy communication. (Let's Try!1 Unit1, 2, 5, 6, 7, 8 Let's Try!2 Unit2, 5, 6, 7)	・時刻や天気のとずね方、ものの様子を表す言い方など様々な表現が日本語と英語とでは異なることに気づく。 ・オリジナルシャツについて、4年生で慣れ親しんだいろいろな表現を使って、英語でALTや友達と対話のやり取りをする。 ・4年生で慣れ親しんだいろいろな表現を使って、友達と積極的にコミュニケーションを図る。	③	③	③	・英語の表現の仕方に興味をもつだけでなく、日本語との違いに気づき理解している。 ・オリジナルTシャツを作り、外国語活動で学んだコミュニケーションの仕方を活かして、作ったシャツの特徴を友達と伝え合っている。	Show and Tell A: This is my T-shirt. I like cats. I like yellow. Do you like it? B: Yes. It's cute. (I like ~ too.) ※12月にグループで行ったTシャツのデザインを個人で行い、紹介する。 ※絵を描いたり、いろいろな形を貼り合わせたりしてデザインする。	行動観察 ふり返りシート	B(7) 感謝
	外国語活動を通して学んできたことを振り返り、活動を楽しみ、お互いに交流をすることができるようにする。	【活動到達目標との関連】 外国語活動で慣れ親しんだ表現を用いて、サポートを受けながら相手や自分に関する事柄について質問したり質問に答えたりすることができるようにする。				・外国語活動で学んだことを振り返りながら、様々な表現を用いてALTや友達と主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。			

戸田市の外国語科における評価の観点とその趣旨を踏まえた評価規準（小5・6年）

〈 目指す子供像 〉 ①誰とでも主体的に関わろうとする子供 ②互いの気持ちや考えを英語で伝え合うことができる子供 ③豊かな国際性を身に付けた子供

★評価規準とは、教育目標を具現化したもので「**全ての学習者が到達することを期待する達成目標**」のことである。規準は観点別に**学習活動状況を評価する際の拠りどころ**となる。

★学習者及び指導者は、その規準と比較して「学習活動（～している）状況」を評価する。具体的には、観点ごとに「5領域の学習活動状況」を分析的に「**目標準拠評価**」する。

★学習者は、毎回の授業において本時の規準（「概ね、満足できる状況かどうか」）を用いて、自己の学習活動状況を振り返る【**形成的評価**】。

★指導者は単元や題材のまとまりの中で「**ここを見取ろう**」という**評価場面を精選し、単元等の規準を用いて学習者の学習活動状況を的確に見取る**。

3観点5領域13目標と照らし学習の実現状況について、「十分満足できる：A」、「概ね、満足できる：B」、「努力を要する：C」と区別して評価する【**形成的評価**】。

★指導者は上記の「形成的評価」から得る学習者の学習活動状況に関する評価情報を基に、常に、**授業の改善を図る**。

★評定について－「通知」では、3観点は評定の基本要素となるが、評定の決定方法は各学校で定める。

「指導要録」は、三つの観点別学習活動状況を総合し、一つの評定とする。「3：A」、「2：B」、「1：C」の3段階で示す。

「学習指導要領の3本柱」及び「各教科の観点別学習状況の3観点」		外国語科の観点別評価の趣旨を踏まえた評価規準（領域別の評価規準の原典）
知識及び技能	知識・技能	①外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解している。 ②読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 ③外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	①コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり、話したりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。 ②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	①外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 ②他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ③様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。 ※児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況→個人内評価 日々の教育活動や総合所見等で児童に積極的に伝える！

★道徳教育との関連

外国語科における道徳教育の指導においては、道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、道徳教育の内容について、外国語（英語）活動の特質に応じた適切な指導をする必要がある。特に外国語（英語）活動においては、他者や集団とのかかわりを通して、活動が進められることから、常に道徳の内容**B（主として人とのかかわりに関すること）**、**C（主として集団や社会とのかかわりに関すること）**と密接に関連を図る必要がある。また、他者や集団とのかかわりを通して、自分自身を見つめることができることから道徳の内容**A（主として自分自身に関すること）**との関連も図る必要がある。以上のことを踏まえ、年間指導計画については、特に単元の内容と関連の深い道徳教育の内容を明示することとする。

令和2年度戸田市立〇〇小学校第5学年 外国語科年間指導計画

目指す子供像

- ①誰とも主体的に関わろうとする子供 ②互いの気持ちや考えを英語で伝え合うことができる子供 ③豊かな国際性を身に付けた子供

月 時 数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点 知 思 主	評価規準	主な言語材料 (基本表現/基本単語)	評価方法	道徳との 関連
4 ・ 5 月 (8)	<p>【Unit 1】 Hello, friends.</p> <p>名前や好きなもの・ことを伝えることができるようにする。</p>	<p>①登場人物の学校での会話や名前、好き嫌いなどの自己紹介や、海外の友達との自己紹介を聞く。 ②友達と好きなもの・ことをたずね合ったり、巻末の絵カードを使って、英語の語順を考えたりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリー（絵辞典）などを使いながら、スポーツ、学校、色、食べ物に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④名前やつづり、好きなもの・ことを友達とたずね合った上で、「名刺カード」を作り、交換して、p.34に貼る。 ⑤世界の名前や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥北海道地方に住むロス・フィンドレーさんの映像を視聴する。 ⑦活字体の大文字を読んだり、書いたりする。</p> <p>【活動到達目標】 自分や相手のこと及び身の回りの事柄（好きなもの・こと）について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問したりすることができるようにする。 相手の言っていることを聞いて、聞き直したり繰り返したりすることができるようにする。</p>	① ① ①	<p>・名前や好きなもの・ことを伝える語句や表現、活字体の大文字を理解している。</p> <p>・名前や好きなもの・ことを伝える目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、伝え合っている。</p> <p>・他者に配慮しながら、名前や好きなもの・ことを主体的に伝えようとしている。また、世界や日本についての理解を深めようとしている。</p>	<p>A:Hello. B:Hello. A:Are you Emily? B:Yes. I'm Emily. A:How do you spell your name? B:E-M-I-L-Y. Emily. A:What [sport/color/food] do you like? B:Soccer. I like soccer. A:Good. Nice to meet you.</p> <p>※質問の部分好きな食べ物やスポーツに変えて行う。 ※“me too.”など相手とのコミュニケーションをふくらませる表現を今まで慣れ親しんだ表現に組み合わせることに重点をおく。 ※モジュールの時間を活用して4線が示された名刺カードに、活字体で自分の名前を書く。自分が好きな物などを書き入れることでオリジナル名刺を作る。それを友達と見せ合ったり、交換したりしながら自己紹介をする活動を行うことができる。その名刺カードを使ってWho am I?ゲームをすることもできる。</p>	行動観察 ふり返しシート	B(9)礼儀
5 ・ 6 月 (8)	<p>【Unit 2】 When is your birthday?</p> <p>誕生日やほしいものを伝えることができるようにする。</p>	<p>①誕生日やほしいものについての登場人物の会話や、世界の行事や祝日についての話を聞く。 ②誕生日やクリスマス、正月の行事の日付や、それらの日にほしいものについてたずね合う。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリー（絵辞典）などを使いながら、月、日付、衣類、状態に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④誕生日の日付やほしいものをたずね合った上で、「パースデーカード」を作り、友達と交換して、p.34に貼る。 ⑤世界の一年（行事や祝日）や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥中部地方に住む村雨辰剛さんの映像を視聴する。 ⑦活字体の小文字を読んだり、書いたりする。</p> <p>【活動到達目標】 自分や相手のこと及び身の回りの事柄（誕生日やほしいもの）について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問したりすることができるようにする。 相手の言っていることを聞いて、聞き直したり繰り返したりすることができるようにする。</p>	① ① ①	<p>・誕生日やほしいものを伝える語句や表現、活字体の小文字を理解している。</p> <p>・誕生日やほしいものを伝える目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり、付け加えたりして、伝え合っている。</p> <p>・他者に配慮しながら、誕生日やほしいものを主体的に伝えようとしている。また、世界や日本についての理解を深めようとしている。</p>	<p>A:When is your birthday? B:May. (March, June,) My birthday is May 5th. A:What do you want for your birthday? B:T-shirt. I want (a yellow T-shirt). A:This is for you. Here you are. B:Thank you.</p>	行動観察 ふり返しシート	B(10)友情、信頼

月 時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点		評価規準	主な言語材料 (基本表現/基本単語)	評価方法	道徳との 関連
			知	思 主				
6・7月 (8)	<p>【Unit 3】 What do you want to study?</p> <p>学びたい教科やなりたい職業を伝えることができるようにする。</p>	<p>①登場人物や世界の友達の学びたい教科や時間割、なりたい職業についての話を聞く。 ②学びたい教科やなりたい職業について友達とたずね合う。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリー（絵辞典）などを使いながら、天気、曜日、気分、教科、職業に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④学びたい教科やなりたい職業についてたずね合った上で、「夢に近づく時間割」を作り、紹介し、p. 35に貼る。 ⑤世界の授業や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥中国地方に住むソイル・アリさんの映像を視聴する。 ⑦活字体の大文字・小文字を読んだり、書いたりする。</p> <p>【活動到達目標】 自分や相手のこと及び身の回りの事柄（学びたい教科やなりたい職業）について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問したりすることができるようにする。 相手の言っていることを聞いて、聞き直したり繰り返したりすることができるようにする。</p>	②	①	<p>・学びたい教科やなりたい職業などを伝える語句や表現、活字体の大文字と小文字を理解している。</p> <p>・学びたい教科やなりたい職業を伝える目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、伝え合っている。</p> <p>・他者に配慮しながら、学びたい教科やなりたい職業を主体的に伝えようとしている。また、世界や日本についての理解を深めようとしている。</p>	<p>A:What do you want to study? B:Home economics. I want to study (home economics). A:What do you want to be? B:Baker. I want to be (a baker). A:Good!</p> <p>※クラスでどの教科が一番人気があるのか、また人気がないのかを調べるためお互いに尋ね合う、という設定であれば、尋ねる必然性ができます。 ※モジュールの時間に次のような3ヒントクイズを行うと、思考力・判断力を伴うコミュニケーション活動を通して言語に関する知識の理解と使い方の技能が育まれます。Numbers, Triangles, Ruler. What's this?</p>	行動観察 ふり返しシート	A(5) 希望と勇氣、努力と強い意志
7月 (2)	<p>Check Your Steps 1</p> <p>外国の人に自己紹介をしよう</p> <p>初めて会う外国の人に自己紹介をすることができるようにする。</p>	<p>①児童が初めて会う外国の人に対して自己紹介することを想定し、好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日などから伝えたいことを選んでパネルを作り、スピーチを行う。</p> <p>【活動到達目標】 日常生活に関する身近で簡単な事柄（自己紹介）について、基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p>	③	②	<p>・外国の人に対して自己紹介をするために必要な語句や表現について理解している。</p> <p>・外国の人に対する自己紹介スピーチの目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、スピーチをしている。</p> <p>・他者に配慮しながら、自己紹介スピーチの提示資料を用意し、話し方を工夫するなど主体的にスピーチをしようとしている。</p>	<p>Hello. I'm Hiromi. H-I-R-O-M-I.Hiromi. Nice to meet you. My birthday is May 5th. I like (soccer). I want to study (home economics). I want to be (a baker). Nice to meet you.</p>	行動観察 ふり返しシート	B(9) 礼儀
8・9・10月 (8)	<p>【Unit 4】 He can bake bread well.</p> <p>地域の身近な人を紹介することができるようにする。また、アルファベットの大きな文字が分かり、書けるようにする。</p>	<p>①登場人物が住む地域の場所や身近な人についての話や、できること・できないことについての話を聞く。 ②先生や友達にインタビューをしたり、そのことをもとに名前を書いたり、できることの巻末絵カードを置いたりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリー（絵辞典）などを使いながら、動作など、建物など、楽器、家族、人に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④「身近な人紹介カード」を作ってその人の職業やできることなどをたずね合ったりした上で、ショー・アンド・テルをし、p. 63に貼る。 ⑤世界の町で働く人々や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥九州地方に住むドリアーノ・スリスさんの映像を視聴する。 ⑦複数の大文字の名前を聞いて書く。アクセントに慣れ親しむ。</p> <p>【活動到達目標】 ゆっくりはっきり話されれば、身近な事柄（友達のできること、できないこと）について簡単な語句を聞き取るとともに、基本的で具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p>	①	①	<p>・地域の身近な人を紹介する語句や表現、活字体の大文字と小文字を理解している。</p> <p>・地域の身近な人を紹介する目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、紹介している。</p> <p>・他者に配慮しながら、地域の身近な人を主体的に紹介しようとしている。また、英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。</p>	<p>A:Can you (cook well) ? B:[Yes, I can./No, I can't.] A:[I/You/He/She][can/can't](cook well).</p> <p>A:Who is this? B:This is (Mark Smith). [He/She]is a baker. [He/She]can (bake bread well).</p> <p>A:It's [my/your]turn.</p>	行動観察 ふり返しシート	B(7) 親切、思いやり

月 時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点		評価規準	主な言語材料 (基本表現/基本単語)	評価方法	道徳との 関連
			知	思 主				
10 ・ 11 月 (8)	【Unit 5】 Where is the post office? 場所をたずねたり、答えたりすることができるようにする。	①登場人物の道案内や、さがしものがどこにあるのか、外国の記号について話を聞く。 ②さがしものがどこにあるのかたずね合ったり、登場人物になりきって道案内をしたりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリー（絵辞典）などを使いながら、道案内、位置、日常生活、建物などに関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④町のお気に入りの場所や、あったらよい場所などを地図に記入して伝え合ったりした上で、「町にあったらよい場所カード」を作り、道案内をし、p.63に貼る。 ⑤世界の地図や標識、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥関東地方に住むデービッド・ブルさんの映像を視聴する。 ⑦複数の小文字の名前を聞いて書く。アクセントや語の始まりの音に慣れ親しむ。 【活動到達目標】 自分や相手のこと及び身の回りの事柄（場所や建物）について相手に（道を）尋ねたり、自分のこと（行き方）を伝えたり、質問したりすることができるようにする。 相手の言っていることを聞いて、聞き直したり繰り返したりすることができるようにする。	①		・場所をたずねたり、答えたりする語彙や表現、活字体の大文字と小文字を理解している。 ・場所をたずねたり、答えたりする目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、たずねたり、答えたりしている。 ・他者に配慮しながら、主体的に、場所をたずねたり、答えたりしようとしている。また、英語の音に親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。	A:Excuse me. B:Yes. A:Where is (the post office)? B:Post office? Go straight. B:Turn [left/right]. A:Thank you. B:You're welcome. A:Where is (the racket)? B:It's [in/by/on/under] (the desk).	行動観察 ふり返りシート	B(7) 親切、思いやり
11 ・ 12 月 (8)	【Unit 6】 What would you like? ていねいに注文をしたり、値段をたずねたりすることができるようにする。また、アルファベットの小文字が分かり、書けるようにする。	①登場人物がていねいに注文したり、値段をたずねたりする場面や、世界の料理について話を聞く。 ②ピクチャーディクショナリーを使って注文したり、値段をたずね合ったり、メニューを考えたりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリー（絵辞典）などを使いながら、デザート、味など、食べ物、飲み物、数、に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④日本各地の名物を決めて、ピクチャーディクショナリーを使って注文をしたり、会計し合った上で、「ふるさとメニュートレイ」と巻末絵カードを使ったりして、買い物をし合い、p.62に貼る。 ⑤世界の食文化や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥東北地方にするカリン・ラフィットさんの映像を視聴する。 ⑦複数の小文字の名前を聞いて書く。単語の始まりの音や終わりの音に慣れ親しむ。 【活動到達目標】 身の回りの活字体で表現された文字に気付き、その読み方を発音することができるようにする。 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識して音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。	①	①	・ていねいに注文したり、値段をたずねたりする語句や表現、活字体の大文字と小文字を理解している。 ・ていねいに注文したり、値段をたずねたりする目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、たずねたり、答えたりしている。 ・他者に配慮しながら、主体的に、ていねいに注文したり、値段をたずねたりしようとしている。また、英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。	A:What would you like? B:I'd like (a salad), please. A:Anything else? B:No, thanks. A:How much is it? B:It's (570) yen. A:O. K. ※買い物に目的（～を作る。なるべく安く。設定金額にぴったりなど）を与えると意欲が高まります。	行動観察 ふり返りシート	B(9)礼儀
12 月 (2)	Check Your Steps 2 地域のおすすめを紹介しよう あなたの地域のおすすめを外国の人に紹介することができるようにする。	①児童の地域のおすすめを外国の人に紹介することを想定し、建物や人、特産物などから伝えたいことを選び、パンフレットを作り、スピーチを行う。 【活動到達目標】 日常生活に関する身近で簡単な事柄（地域のおすすめ）について、基本的な表現を用いて話すことができるようにする。	①	②	・地域のおすすめスピーチをする語句や表現について理解している。 ・地域のおすすめスピーチの目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、スピーチをしている。 ・他者に配慮しながら、地域のおすすめスピーチの提示資料を用意しようとしている。また、話し方を工夫するなど、主体的にスピーチをしようとしている。	Hello. How are you? This is Saiko. Saiko is very large lake. In Saiko, you can do barbecue, marathon practice and cycling. (Please try to go.) Thank you.	行動観察 ふり返りシート	C(16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度

月 時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点		評価規準	主な言語材料 (基本表現/基本単語)	評価方法	道徳との 関連
			知	思 主				
1 月 (8)	【Unit 7】 Welcome to Japan.	①登場人物の日本の四季や文化についての話や、世界で食べられている日本の食べ物についての話を聞く。 ②日本の遊びや年中行事について、クイズを出し合ったり、その行事に関することや食べるものについてたずね合ったりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリー(絵辞典)などを使いながら、季節や形、遊びなど、年中行事に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④好きな季節とその理由、その季節に行う行事をたずね合った上で、「日本の四季ポストカード」を作り、紹介し、p.82に貼る。 ⑤世界に広がる日本文化と、英語と日本語との違いについて考える。 ⑥中部地方に住むスザーン・ロスさんの映像を視聴する。 ⑦Animals Jingleを聞いたり、歌ったりする。	①	①	・日本の四季や文化について紹介する語句や表現、活字体の大文字と小文字を理解している。 ・日本の四季や文化について、目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、紹介している。 ・他者に配慮しながら、日本の四季や文化について主体的に紹介しようとしている。また、英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。	A:Welcome to Japan. B:I like (winter). A:Why do you like winter? We have (New Year's Day) in (winter). B:What do you do on New Year's Day? A:I (play <i>karuta</i>). B:Oh, really?	行動観察 ふり返り シート	C(16) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
	日本の四季や文化について紹介することができるようにする。	【活動到達目標】 自分や相手のこと及び身の回りの事柄(日本の遊びや年中行事)について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問したりすることができるようにする。 相手の言っていることを聞いて、聞き直したり繰り返したりすることができるようにする。	①	①	・あこがれの人について発表する語句や表現、活字体の大文字と小文字を理解している。 ・あこがれの人について、目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、発表をしている。 ・他者に配慮しながら、自分のあこがれの人について主体的に発表しようとしている。また、英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。	A:Who is your hero? B:My hero is (my brother). A:Why? B:He is good at (cooking). He is always (kind to me). A:What can he do well? B:He can play (soccer) well.		
2 月 (8)	【Unit 8】 Who is your hero?	①日常生活やあこがれの人、海を越えて活躍する日本のヒーローたちの話を聞く。 ②登場人物の日課についてのゲームをする。また、絵をヒントに質問し合って友達について知り、紹介する。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリー(絵辞典)などを使いながら、一日の生活、性格など、頻度、スポーツ、楽器に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④児童にとってのヒーローを考えて、「ヒーロー紹介カード」を作り、その理由をペアでたずね合った上で、ショー・アンド・テルをし、p.82に貼る。 ⑤日本生まれのヒーローや、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥近畿地方に住むダイアン吉日さんの映像を視聴する。 ⑦Food Jingleを聞いたり、歌ったりする。	①	①	・「日本のすてき」を紹介するスピーチで使用する語句や表現について理解している。 ・「日本のすてき」スピーチの目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり、付け加えたりして、スピーチをしている。 ・他者に配慮しながら、「日本のすてき」スピーチの提示資料を用意し、話し方を工夫するなど、主体的にスピーチしようとしている。	Welcome to Japan. This is Japan summer festival. You can wear yukata. You can eat shaved ice. You can see and enjoy fireworks. It's beautiful. Thank you.	行動観察 ふり返り シート	C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
	あこがれの人について発表することができるようにする。	【活動到達目標】 自分や相手のこと及び身の回りの事柄(あこがれの人や、一日の生活)について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問したりすることができるようにする。 相手の言っていることを聞いて、聞き直したり繰り返したりすることができるようにする。	③	②	②	②		
3 月 (2)	Check Your Steps 3 「日本のすてき」を紹介しよう	①英語の先生に「日本のすてき」を紹介することを想定し、人や行事、食べ物などから伝えたいことを選び、紹介ガイドを作り、スピーチをする。 ②クラス全員の日本紹介ガイドのページを集めてガイドブックにする。	③	②	②	②	行動観察 ふり返り シート	C(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度
	「日本のすてき」を英語の先生に紹介することができるようにする。	【活動到達目標】 日常生活に関する身近で簡単な事柄(日本のすてき)について、基本的な表現を用いて話すことができるようにする。	③	②	②	②		

戸田市の外国語科における評価の観点とその趣旨を踏まえた評価規準（小5・6年）

〈 目指す子供像 〉 ①誰とでも主体的に関わろうとする子供 ②互いの気持ちや考えを英語で伝え合うことができる子供 ③豊かな国際性を身に付けた子供

★評価規準とは、教育目標を具現化したもので「**全ての学習者が到達することを期待する達成目標**」のことである。規準は観点別に**学習活動状況を評価する際の拠りどころ**となる。

★学習者及び指導者は、その規準と比較して「学習活動（～している）状況」を評価する。具体的には、観点ごとに「5領域の学習活動状況」を分析的に「**目標準拠評価**」する。

★学習者は、毎回の授業において本時の規準（「概ね、満足できる状況かどうか」）を用いて、自己の学習活動状況を振り返る【**形成的評価**】。

★指導者は単元や題材のまとまりの中で「**ここを見取ろう**」という**評価場面を精選し、単元等の規準を用いて学習者の学習活動状況を的確に見取る**。

3観点5領域13目標と照らし学習の実現状況について、「十分満足できる：A」、「概ね、満足できる：B」、「努力を要する：C」と区別して評価する【**形成的評価**】。

★指導者は上記の「形成的評価」から得る学習者の学習活動状況に関する評価情報を基に、常に、**授業の改善を図る**。

★評定について－「通知」では、3観点は評定の基本要素となるが、評定の決定方法は各学校で定める。

「指導要録」は、三つの観点別学習活動状況を総合し、一つの評定とする。「3：A」、「2：B」、「1：C」の3段階で示す。

「学習指導要領の3本柱」及び「各教科の観点別学習状況の3観点」		外国語科の観点別評価の趣旨を踏まえた評価規準（領域別の評価規準の原典）
知識及び技能	知識・技能	①外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解している。 ②読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 ③外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	①コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり、話したりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。 ②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	①外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 ②他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ③様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。 ※児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況→個人内評価 日々の教育活動や総合所見等で児童に積極的に伝える！

★道徳教育との関連

外国語科における道徳教育の指導においては、道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、道徳教育の内容について、外国語（英語）活動の特質に応じた適切な指導をする必要がある。特に外国語（英語）活動においては、他者や集団とのかかわりを通して、活動が進められることから、常に道徳の内容**B（主として人とのかかわりに関すること）**、**C（主として集団や社会とのかかわりに関すること）**と密接に関連を図る必要がある。また、他者や集団とのかかわりを通して、自分自身を見つめることができることから道徳の内容**A（主として自分自身に関すること）**との関連も図る必要がある。以上のことを踏まえ、年間指導計画については、特に単元の内容と関連の深い道徳教育の内容を明示することとする。

令和2年度 戸田市立〇〇小学校第6学年 外国語科 年間指導計画

道徳教育との関連について

外国語(英語)活動における道徳教育の指導においては、道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、道徳教育の内容について、外国語(英語)活動の特質に応じた適切な指導をする必要がある。特に外国語(英語)活動においては、他者や集団とのかかわりを通して、活動が進められることから、常に道徳の内容B(主として人とのかかわりに関すること)、C(主として集団や社会とのかかわりに関すること)と密接に関連を図る必要がある。また、他者や集団とのかかわりを通して、自分自身を見つめることができることから道徳の内容A(主として自分自身に関すること)との関連も図る必要がある。以上のことを踏まえ、年間指導計画については、特に単元の内容と関連の深い道徳教育の内容を明示することとする。

月 時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方法	道徳との 関連
			知	思	主				
4月 6	Unit1 This is me!	①世界の子供たちの名前や好きなもの・こと、誕生日などについて自己紹介を聞く。 ②名前や好きなもの・こと、誕生日について聞いたり、それらについて尋ね合ったり書いたりする。例を参考に伝えたい分を書き写したりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリーなどを使いながら、国、動物、月、日付に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④②で書き留めたぶんをもとに、「プロフィールカード」をつくり発表する。 ⑤世界の国や文化、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥中国についての映像や視聴する。 ⑦最初の音が共通の単語の発音を聞いたりして、英語の音に慣れ親しむ。	①			○名前や好きなもの・こと、誕生日を発表する語句や表現を理解している。 ○活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に発表したい語句や表現を書き写すことで考えや気持ちを伝え合う技能を身に付けている。	A: Hello! My name is (Akira). What's your name? B: [My name is](Miyuki). Nice to meet you. A: Nice to meet you, too. A: Where are you from? B: I'm from Toda. A: What are you good at? B: Guiter. I can play the guiter. A: When is your birthday? B: May. My Birthday is May 5th.	行動観察 ふり返りシート	B-(9) 礼儀
	名前や好きなもの・こと、誕生日を発表することができるようにする。		①	○名前や好きなもの・こと、誕生日を発表する目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして発表している。					
	【活動到達目標との関連】 知識や思考力等を活用して、自分や相手のこと及び身の回りの事柄について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問し合ったりすることができるようにする。		②	○他者に配慮しながら、名前や好きなもの・こと、誕生日を主体的に伝え合おうとしている。 ○英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。					
5月 8	Unit2 How is your school life?	①世界の子供たちの学校生活や日課、宝物などの日常生活についての話を聞く。 ②登場人物のしているテレビ番組や宝物などの日常生活について聞いたり、それらについて友達とたずね合ったりする。例を参考に伝えたい文を書き写したりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリーなどを使いながら、乗り物、一日の時間、文房具、一日の生活、日常生活に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④②で書き留めた文をもとに「宝物紹介カード」を作り、発表する。 ⑤世界の人の生活や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥韓国について映像を視聴する。 ⑦最初の音が共通の単語の発音を聞いたりして、英語の音に慣れ親しむ。	②			○世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活について伝え合う語句や表現を理解している。 ○活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に語句や表現を書き写すことで考えや気持ちを伝え合う技能を身に付けている。	A:How is your school life? A:Where do you live? B:I live in Toda. B:I go to ○○ Elementary School. A:What do you (usually) do on Sundays? B:I (usually) watch soccer games (on Sundays). A:What is your treasure? B:Soccer ball. My treasure is this soccer ball.	行動観察 ふり返りシート	A-(3) 節度・節制
	世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活について伝え合うことができるようにする。		②	○世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活について伝える目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、伝え合っている。					
	【活動到達目標との関連】 相手の言っていることを聞いて、聞き直したり繰り返したりしてコミュニケーションを円滑にすることができるようにする。		①	○他者に配慮しながら、主体的に、自分たちの生活について説明しようとしている。英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。					

月 時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方 法	道徳との 関連
			知	思	主				
6月 8	Unit3 Let's go to Italy.	①世界の有名な建物や食べ物などの話や、それらについてのクイズを聞く。 ②CMで分かったことを友達とたずね合う。また、世界の国と有名なものについてメモしたり、たずね合ったりする。例を参考に伝えたい文を書き写したりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリーなどを使いながら、国、様子m食べ物、味などに関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④②で書き留めた文をもとに、「旅先案内カード」を作る。また、友達と協力してポスターを作って発表する。 ⑤世界遺産や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥オーストラリアについての映像を視聴する。 ⑦最初の音が共通の単語を聞いたりして、英語の音に慣れ親しむ。	③			○行ってみたい国や地域と、その理由を説明する語や表現を理解している。 ○活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に説明したい語句や表現を書き写すことで考えや気持ちを伝え合う技能を身に付けている。	A: Can I ask you a question? B: Yes, please. A: Where do you want to go? B: Italy. I want to go to Italy. A:Italy!Why? B:You can see ~. B:You can eat ~. B:You can visit ~. B:You can buy ~. B:It's ~exciting/delicious/fun/beautiful	行動観 察 ふり返り シート	C-(18) 国際理 解、国際 親善
	自分や友達の手行ってみたい国やその理由を話したり、聞いたりして、ALTや友達と積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。	②			○行ってみたい国や地域と、その理由を説明する目的や場面、状況に応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、説明している。				
	【活動到達目標との関連】 自分のことや、身近で簡単な事柄について、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。	②			○他者に配慮しながら、主体的に、行ってみたい国やちいきと、その理由を説明しようとしている。英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。				
7月 1	Check your steps 1 外国の人にメッセージを伝えよう	児童が知っている外国の人にメッセージを伝えるという想定で、その人の説明や感想などを考えてメッセージカードを作り、スピーチをする。	③			○外国の人にメッセージを伝えるスピーチにおいて、慣れ親しんだ語句や表現を使うことで、考え等を伝え合う技能を身に付けている。	Unit1からUnit3までで作成したカードを使用し、自分自身のことを、発表し、伝え合う。	行動観 察 ふり返り シート	A-(4) 個性の 伸長
	外国の人にメッセージを伝えることができるようにする。	②			○外国の人にメッセージを伝えるスピーチの目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、スピーチをしている。				
	【活動到達目標との関連】 ゆっくりはっきりと話されれば、相手の伝えたいことを想像しながら、短い話の概要を大まかに理解することができるようにする。	②			○他者に配慮しながら、主体的に外国の人にメッセージを伝えるスピーチをしようとしている。				
7・8 月 5	H2年度移行措置 Can you find your way?	◎道案内の活動場面において、相手に分かりやすいように道案内をする。	①			○道案内の仕方に関する語句や表現について理解している。	A: Excuse me. Where is the bank? B: Go straight and turn right at the second corner. A: Thank you. B: You' re welcome. (school,hospital,park,book store,station…)	行動観 察 ふり返り シート	B-(7) 親切、思 いやり
	道案内の仕方を知り、道を尋ねたり答えたりすることができるようにする。 (Hi, friends2 Lesson4)(We can!1Lesson7)(NEW HORIZON Elementary5 Unit5)	②			○道案内の活動場面において、実際に道を尋ねたり答えたりする等、互いに自分の気持ちや考えを伝え合っている。				
	【活動到達目標との関連】基本的な表現を用いて道案内や注文したり、それらに応じたりすることができるようにする。	③			○日本と外国の言葉の使い方の違いについて、英語による道案内の仕方を通して、異文化に興味をもち、理解しようとしている。				

月 時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方 法	道徳との 関連
			知	思	主				
9月 8	Unit4 Summer Vacations in the World	①登場人物の夏休みの思い出についての話を聞く。 ②夏休みの思い出や昨日食べたものについて友達とたずね合ったり、例を参考に伝えたい文を書き写したりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリーなどを使いながら、したこと、自然、食べ物、デザート、様子に関する語句や表現に慣れ親しむ。	①			○世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介する語句や表現について理解している。 ○活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に紹介したい語句や表現を書き写すことで伝え合う技能を身に付けている。	A:Can I ask a question? B:Yes, please.	行動観 察 ふり返り シート	B-(11) 相互理 解・寛容
	世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介することができるようにする。	④②で書き留めた文をもとに「夏休みの記録メモ」を作り、発表する。 ⑤世界の夏休みや、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥アメリカについての映像を視聴する。 ⑦最初の音が共通の単語の音声を聞いたりして、英語の音に慣れ親しむ。	②		○世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出の紹介をする目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして紹介している。	A:Where did you go this summer? B:To my grandpa. I went to(my grandpa's house). B:I enjoyed(fishing). B:I saw(a blue sea). B:I ate(ice cream). B:It was(fun/exiting/beautiful/delicious).			
	【活動到達目標との関連】 自分のことや、身近で簡単な事柄について、内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを基本的な表現を用いて話す事ができるようにする。	③		○他者に配慮しながら、主体的に、世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介しようとしている。 ○英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。					
10月 8	Unit5 We all live on the Earth.	①地球上に暮らす生き物がどこで暮らし、何を食べているのかなどについての話を聞く。 ②生き物がどこで暮らし、何を食べているのかなどについて友達とたずね合ったり、巻末絵カードを置いたりする。例を参考に伝えたい文を書き写したりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリーなどを使いながら、海の生き物、自然、からだ、動物、虫に関する語句や表現に慣れ親しむ。	②			○地球上に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表する語句や表現について理解している。 ○活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に語句や表現を用いて発表したいことを書き写すことで伝え合う技能を身に付けている。	A:Can I ask more questions?Where (do) sea turtles live? B:(Sea turtles live) in the sea. A:What (do) sea turtles eat? B:(Sea turtles eat)jellyfish.	行動観 察 ふり返り シート	D-(20) 自然愛 護
	地球上に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表することができるようにする。	④②で書き留めた文をもとに「フードチェーンカード」を作った上で、グループで食物連鎖のポスターを作り、発表する。 ⑤環境や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥ブラジルについての映像を視聴する。 ⑦単語の音声を聞いて、単語を書いたり、絵に合う文字を線で結んだりして英語の音に慣れ親しむ。	②		○地球上に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表する目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、発表している。	自分自身のことだけでなく、環境問題や食物連鎖といった話題を扱う。フードチェーンカード等の活動から、語順の気付きを促したい。			
	【活動到達目標との関連】 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。	①		○他者に配慮しながら、主体的に、地球上に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表しようとしている。 ○英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。					
11月 8	Unit6 Let's think about our food.	①登場人物が食べたものや、産地、栄養素のグループについての話を聞く。 ②食べ物の産地や栄養素のグループについて、チラシや絵カードを使って友達とたずね合ったり、例を参考に伝えたい文を書き写したりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリーなどを使いながら、食べ物、食事、食材、果物、野菜に関する語句や表現に慣れ親しむ。	①			○食材を通じた世界のつながりを考え、メニューを発表する語句や表現について理解している。 ○活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に語句や表現を用いて発表したいことを書き写すことで伝え合う技能を身に付けている。	A: Can I ask a question? B:Yes, please. A:What did you eat last night? B:(I ate) curry and rice.I usually eat beef curry.	行動観 察 ふり返り シート	D-(19)生 命の尊さ
	食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表することができるようにする。	④②で書き留めた文をもとに、「オリジナルカレーメモ」を作成する。またグループで「オリジナルカレー」を考えて発表する。 ⑤外国からくる食べ物や、英語と日本語の違いについて考える。 ⑥スイスについての映像を視聴する。 ⑦単語の音声を聞いて、単語を書いたり、絵に合う文字を線で結んだりして英語の音に慣れ親しむ。	②		○食材を通じた世界のつながりを考え、メニューを発表する目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、伝え合っている。	A:Where is the beef from? B:(The beef is from) Australia. B:Beef is in the red group.			
	【活動到達目標との関連】 自分や相手のこと及び身の回りの事柄について相手に尋ねたり、自分のことを伝えたり、質問し合ったりすることができるようにする。	①		○他者に配慮しながら、主体的に、食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを伝え合おうとしている。 ○英語の音に親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。					

月 時数	単元名 目 標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方 法	道徳との 関連
			知	思	主				
12月 1	Check your steps 2 世界と自分のつながりを 紹介しよう	持ち物、動物、食べ物などの身の回りのものから世界と自分のつな がりを探してポスターを作り、スピーチをする。 【活動到達目標との関連】 ゆっくりはつきりと話されれば、相手の伝えたいことを想像しながら、短 い話の概要を大まかに理解することができるようにする。	③			○世界と自分のつながりを発見して紹介するスピーチにおいて、 慣れ親しんだ語句や表現について理解している。	Unit4からUnit6までで作成したカードを使用 し、世界と自分のつながりを紹介し合う。	行動観 察 ふり返り シート	C-(18) 国際理 解、国際 親善
	世界と自分のつながりを発見 して紹介することができる ようにする。		②			○世界とじぶんのつながりを発見して紹介するスピーチの目的や 場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり 付け加えたりして、スピーチをしている。			
			①			○他者に配慮しながら、主体的に、世界と自分のつながりを発見 して紹介するスピーチをしようとしている。			
12-1 月 8	Unit7 My Best Memory	①登場人物や世界の子供たちの小学校生活の思い出や学校行事につい ての話を聞く。 ②学校行事や修学旅行でしたこと、楽しんだことなどについてたずね合っ たり、例を参考に伝えたい文を書き写したりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリーなどを使いながら、学校行事、し たこと、建物など、動作などに関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④②で書き留めた文をもとに「アルバムシート」を作り、グループで紹介し合 う。 ⑤世界の学校生活や、英語と日本語との違いについて考える。 ⑥ガーナについての映像を視聴する。 ⑦最初の音が二文字で一つの音になる単語の音声を聞いたりして、英語の 音に慣れ親しむ。 【活動到達目標との関連】 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分慣れ 親しんだ語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。	③			○小学校生活の思い出を伝え合う語句や表現について理解して いる。 ○活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に語句や表現を 用いて発表したいことを書き写すことで伝え合う技能を身に付け ている。	A:What is your best memory? B:(My best memory is) our school trip. B:We went to Kyoto in June. A:What did you see? B:(We saw) temples.We saw many temples. A:What did you enjoy? B:I enjoyed taking with my friends.	行動観 察 ふり返り シート	B-(11) 相互理 解、寛容
	小学校生活の思い出を伝え合 うことができるようにする。		②			○小学校生活の思い出を伝え合う目的や場面、状況などに応じ て、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、伝え 合っている。			
			③			○他者に配慮しながら、主体的に、小学校生活の思い出を伝え 合おうとしている。 ○英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めよ うとしている。			
2月 8	Unit8 My future, My Dream.	①小学生と中学生の登場人物の、中学校生活や将来の夢についての話を聞く。 ②中学校で楽しみたい学校行事や入りたい部活動、得意なこと、将来なりたい職業 などについてたずね合ったり、例を参考に伝えたい文を書き写したりする。 ③歌やチャンツ、ピクチャーディクショナリーなどを使いながら、部活動や学校行事、 動作など、教科、職業に関する語句や表現に慣れ親しむ。 ④②で書き留めた文をもとに、「夢宣言カード」を作り、スピーチする。 ⑤世界とつながる仕事や、英語と日本語との違いについて考える。 ⑥サウジアラビアについての映像を視聴する。 ⑦「名前読み」となる音を含む単語の音声を聞いたりして、英語の音に慣れ親しむ。 【活動到達目標との関連】 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分か るようになる。	①			○中学校生活や将来について考え、夢を発表する語句や表現を 活用してスピーチをする技能を身に付けている。 ○活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に発表したい文を 書き写している。	A:What do you want to do in junior high school. B:I want to join the volleyball team. B:I want to enjoy sports day. B:I'm good at running. B:I want to be avolleyball player.	行動観 察 ふり返り シート	A-(5) 希望と勇 気、努力 と強い意 志
	中学校生活や将来について考え、夢 を発表することができるようにする。		①			○中学校生活や将来について考え、夢を発表する目的や場面、 状況に応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加え たりして、発表している。			
			②			○他者に配慮しながら、主体的に、中学校生活や将来を考え、夢 を発表しようとしている。			

月 時数	単元名 目標	言語活動	評価の観点			評価規準	言語材料 (基本表現/基本語句)	評価方 法	道徳との 関連
			知	思	主				
3月 1	Check your steps 3 寄せ書きのメッセージを伝えよう	①卒業記念としてクラスみんなに伝えたいメッセージを寄せ書きに書く。 ②メッセージを紹介するスピーチをする。 【活動到達目標との関連】 ゆっくりはっきりと話されれば、相手の伝えたいことを想像しながら、短い話の概要を大まかに理解することができるようにする。	③			○寄せ書きのメッセージを伝えるスピーチにおいて、慣れ親しんだ語句や表現を使っている。	【寄せ書きスピーチ例】 Hello! This is my message. "My best memory is ○○."Next, friends'memories. Listen. "My best memory is our school trip to Kyoto." by Emily. "I like Japan." by Lucas. "I want to be a volleyball player." by Sakura. "I want to study English." by Hiroshi. That's all. Thank you for listening.	行動観 察 ふり返り シート	A-(4) 個性の 伸長
	②				○寄せ書きのメッセージを伝えるスピーチの目的や場面、状況などに応じて、慣れ親しんだ語句や表現を選択したり付け加えたりして、スピーチをしている。				
	②				○他者に配慮しながら、主体的に、寄せ書きのメッセージを伝えるスピーチをしようとしている。				